

令和6年度
日田市市民意識調査報告書

令和7年3月

日 田 市

目次

第1章	調査の概要.....	1
第2章	調査結果.....	5
	1) 調査対象者について.....	6
	2) 施策評価について.....	18
	① 個別項目の満足度評価と重要度評価を評点化（全体）.....	18
	② 施策別評価結果一覧.....	18
	③ 現在の満足度（全体）.....	20
	④ 今後の重要度（全体）.....	23
	3) 市民協働.....	28
	4) 福祉.....	41
	5) 産業振興.....	47
	6) 生活基盤.....	49
	7) 教育・文化.....	51
	8) 環境.....	53

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民意識調査（以下、「調査」といいます。）は、日田市自治基本条例（以下、「条例」といいます。）の目的である、「市民が主役のまちづくり」の実現に向け、条例第13条第4項の規定により、市民参画の機会を設けるために実施しました。この調査は、第6次日田市総合計画「第2期基本計画」の総括及び行政評価の基礎資料に活用することを目的とするものです。

2. 調査方法及び回収状況

調査期間	令和6年9月4日（水）～9月24日（火）
調査対象者	日田市内に居住する15歳以上（4月1日時点：中学生を除く）の男女
標本抽出法	住民基本台帳から無作為抽出※
調査方法	郵便による調査票の配布と郵送・Web併用による回収
配布数	3,000人
回収数	1,135人（郵送 949人／Web 186人）
回答率	37.8%

※無作為抽出の手順

- ①小学校区を基本に市内20地区に分け、それぞれの地区の人口に応じて抽出数を割り当て。
- ②割り当てられた抽出数を各地区でさらに、男女別に20歳未満（15歳以上）、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の区分で均等に割り振り。
- ③住民基本台帳から、上記②の区分ごとに対象者を無作為に抽出。

3. 調査結果利用上の注意

- 図表・グラフ中の「n＝」とは、回答者数を示しています。
- 回答結果の割合「%」は小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問は、選択肢の回答ごとに割合を算出しているため、割合の合計は100.0%ではありません。
- 図表中で「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の数値などについては、一部省略している場合があります。
- 前回調査から設問及び選択肢の表現（設問の趣旨は同様）を見直している箇所があります。

第2章 調査結果

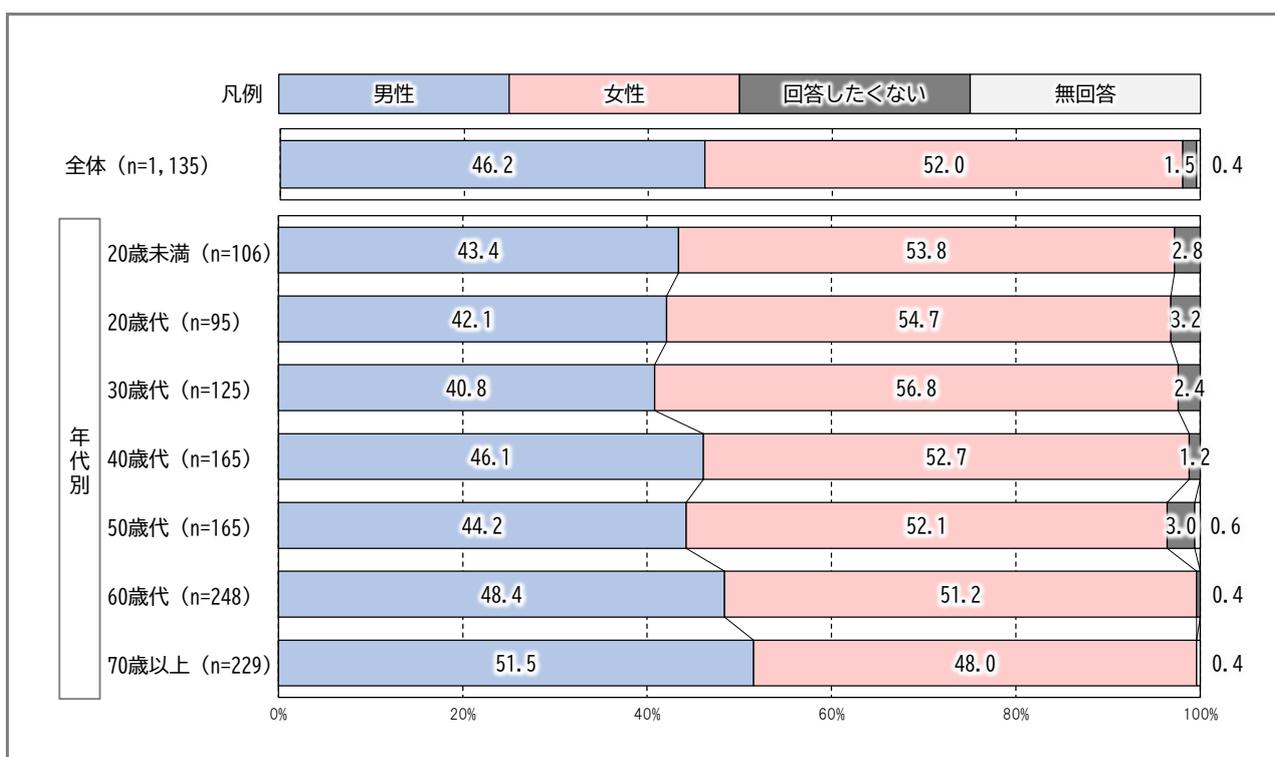
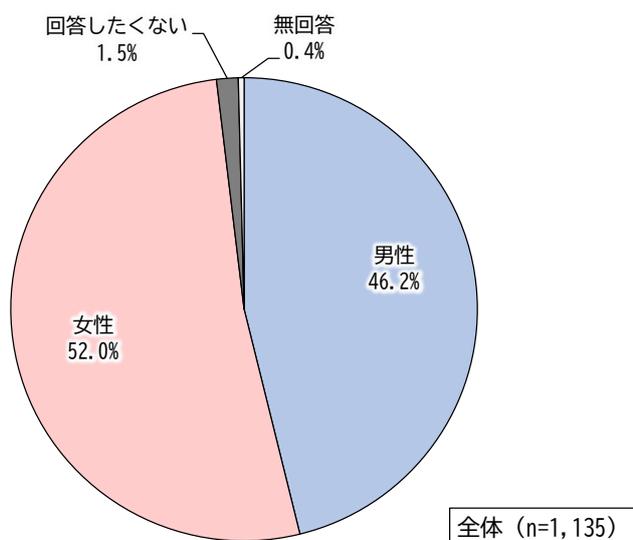
第2章 調査結果

1) 調査対象者について

あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

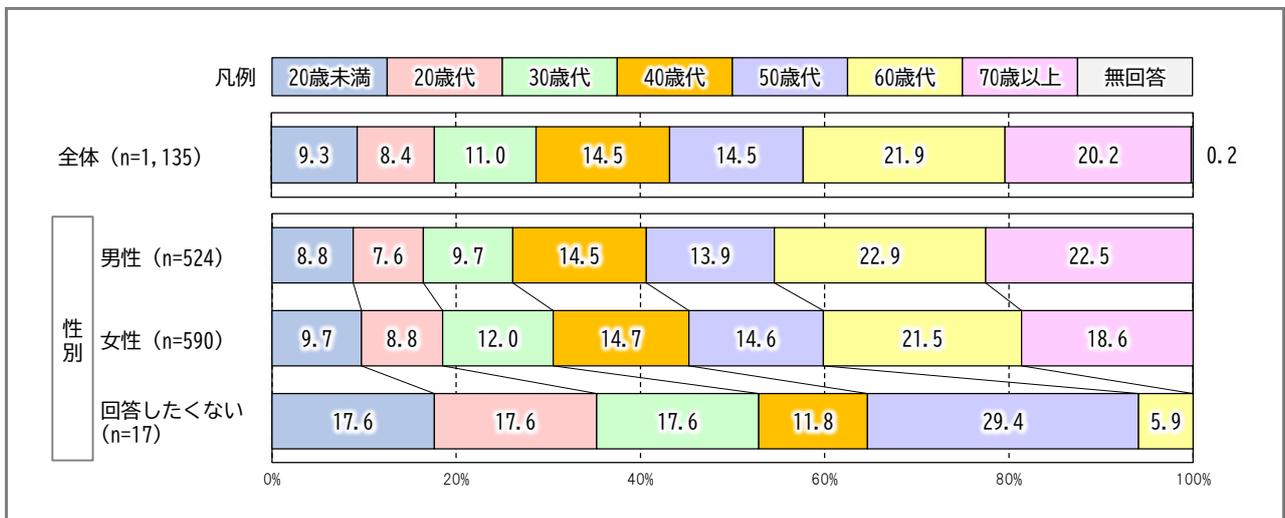
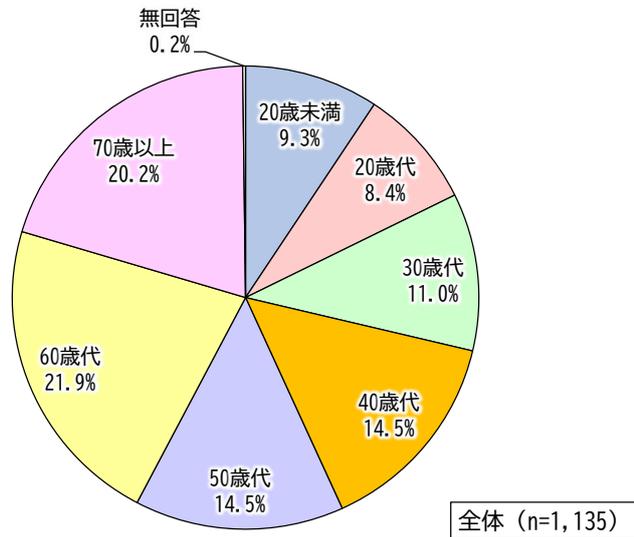
性別については、「男性」が46.2%、「女性」が52.0%となっています。

年代別にみると、「60歳代」以下の年代において「女性」の回答の割合が高くなっています。



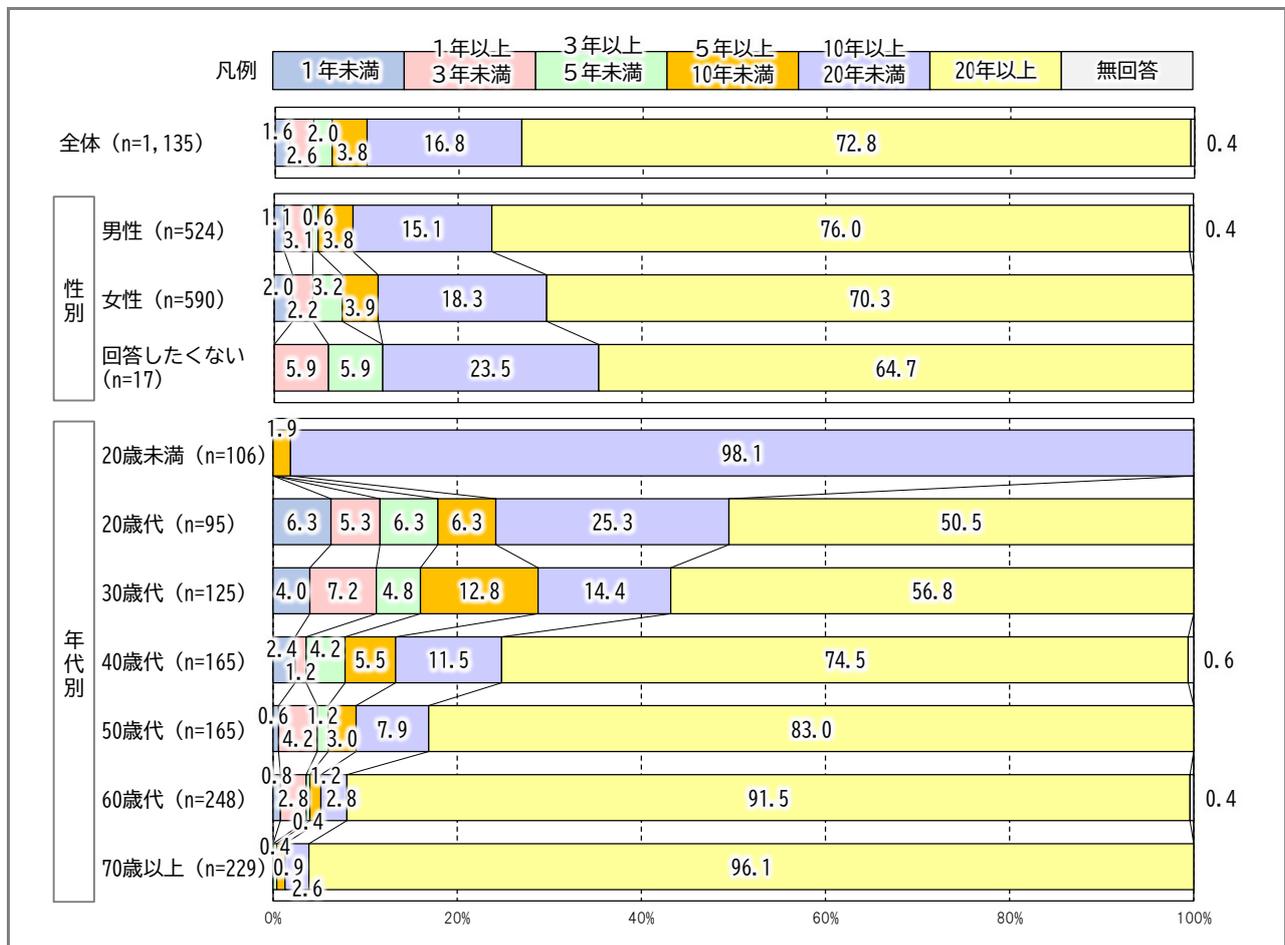
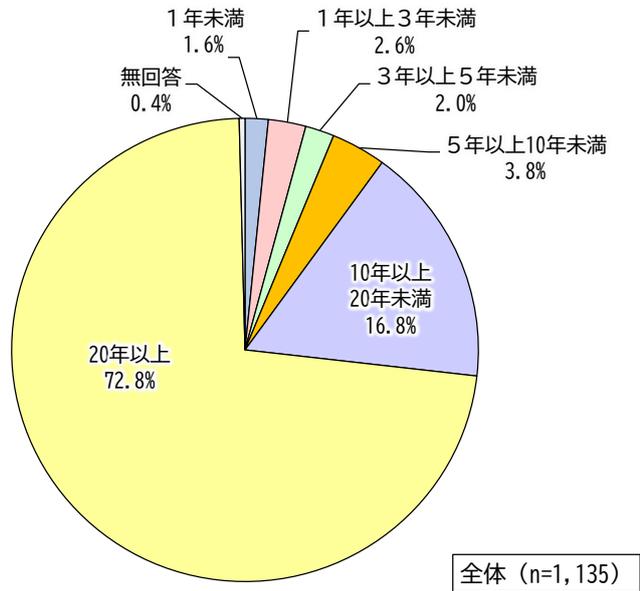
あなたの年齢はどの区分ですか。(○は1つだけ)

年齢区分については、「60歳代」が21.9%と最も高く、次いで「70歳以上」が20.2%、「40歳代」「50歳代」が14.5%の順となっています。



日田市での居住年数はどのくらいですか。(○は1つだけ)

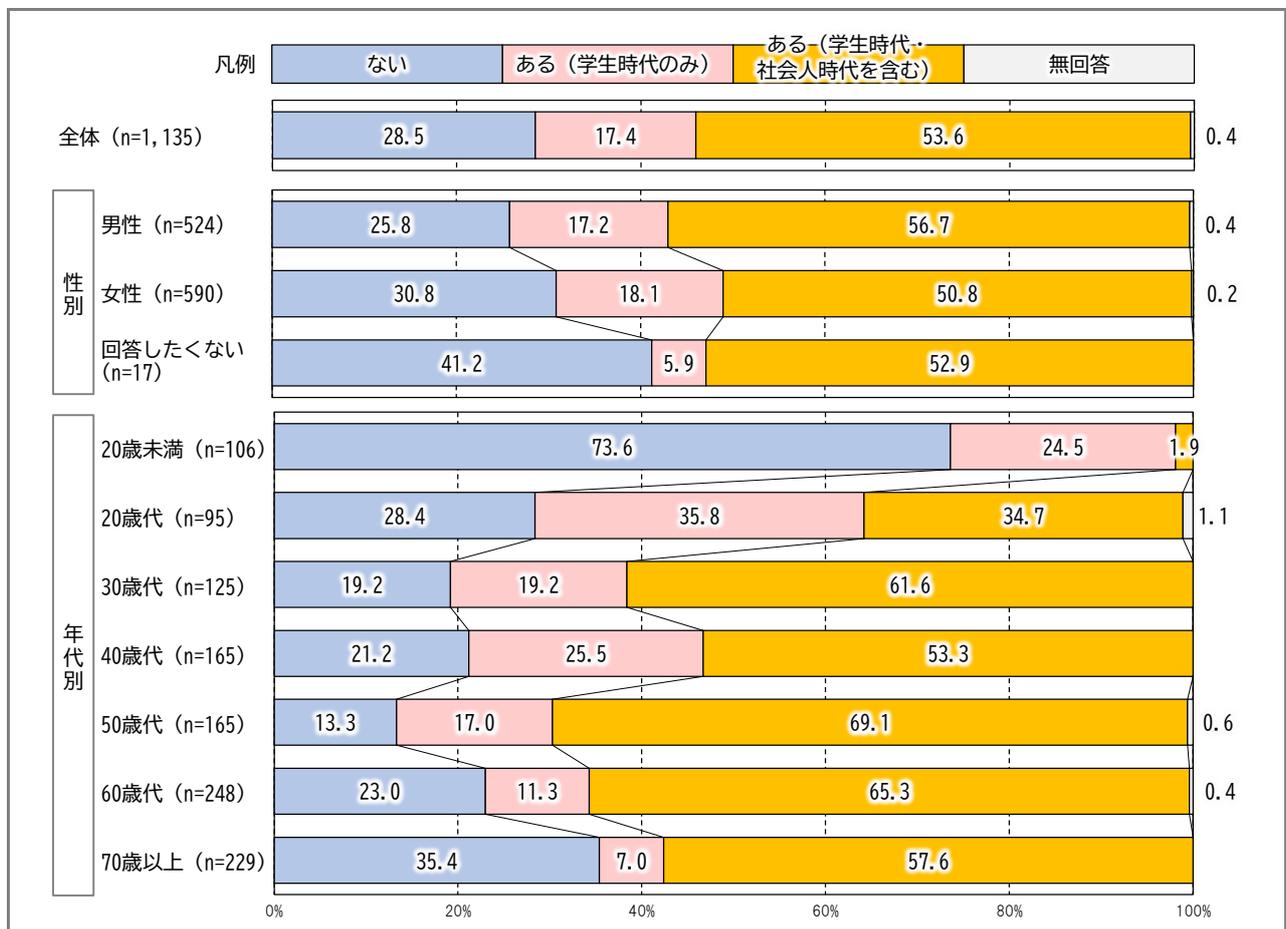
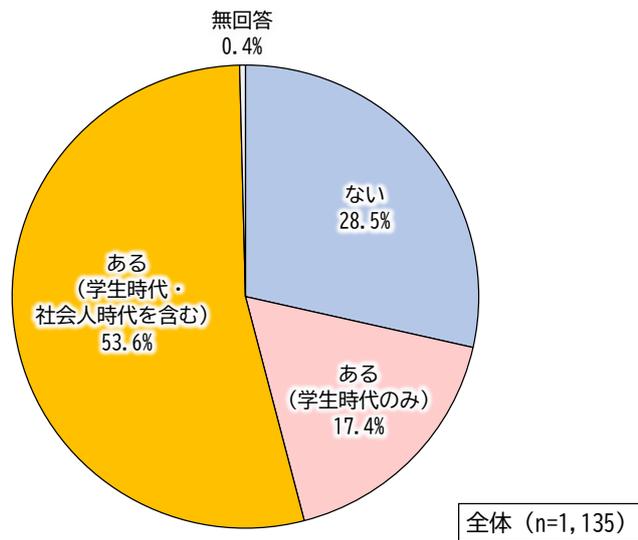
日田市での居住年数については、「20年以上」が72.8%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が16.8%、「5年以上10年未満」が3.8%の順となっています。



日田市以外にお住まいになった経験はありますか。(○は1つだけ)

市外への居住経験については、「ある（学生時代・社会人時代を含む）」が53.6%と最も高く、次いで「ない」が28.5%、「ある（学生時代のみ）」が17.4%の順となっています。

年代別で見ると、「30歳代」以上の年代では「ある（学生時代・社会人時代を含む）」の割合が5割を超え、最も高くなっています。

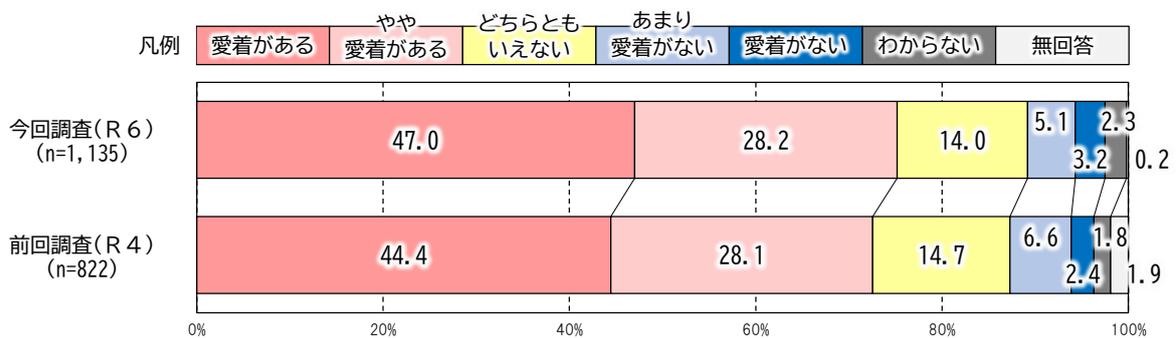


【問1】あなたは、日田市に愛着を持っていますか。(○は1つだけ)

日田市に愛着を持っているかについては、「愛着がある」が47.0%と最も高く、次いで「やや愛着がある」が28.2%、「どちらともいえない」が14.0%の順となっています。

年代別にみると、「20歳代」は「やや愛着がある」が最も高く、それ以外の年代は「愛着がある」の割合が最も高くなっています。特に、「60歳代」「70歳以上」で、「愛着がある」と回答した割合が5割を上回っています。

前回調査と比較すると、「あまり愛着がない」の割合は1.5ポイント低くなり、「愛着がない」の割合は0.8ポイント、「愛着がある」の割合は2.6ポイント高くなっています。



単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	愛着がある	やや愛着がある	どちらともいえない	あまり愛着がない	愛着がない	わからない	無回答
全体		1,135	534	320	159	58	36	26	2
		100.0	47.0	28.2	14.0	5.1	3.2	2.3	0.2
性別	男性	524	264	143	73	24	12	7	1
		100.0	50.4	27.3	13.9	4.6	2.3	1.3	0.2
	女性	590	264	173	82	33	22	16	-
	100.0	44.7	29.3	13.9	5.6	3.7	2.7	-	
	回答したくない	17	5	4	4	-	1	3	-
	100.0	29.4	23.5	23.5	-	5.9	17.6	-	
年代別	20歳未満	106	39	33	17	6	4	7	-
		100.0	36.8	31.1	16.0	5.7	3.8	6.6	-
	20歳代	95	33	39	11	4	5	3	-
		100.0	34.7	41.1	11.6	4.2	5.3	3.2	-
	30歳代	125	42	39	20	12	10	2	-
		100.0	33.6	31.2	16.0	9.6	8.0	1.6	-
	40歳代	165	59	55	37	7	4	3	-
	100.0	35.8	33.3	22.4	4.2	2.4	1.8	-	
50歳代	165	80	45	19	10	6	4	1	
	100.0	48.5	27.3	11.5	6.1	3.6	2.4	0.6	
60歳代	248	131	62	38	9	5	3	-	
	100.0	52.8	25.0	15.3	3.6	2.0	1.2	-	
70歳以上	229	150	47	17	10	1	4	-	
	100.0	65.5	20.5	7.4	4.4	0.4	1.7	-	
居住年数別	1年未満	18	2	7	4	-	4	1	-
		100.0	11.1	38.9	22.2	-	22.2	5.6	-
	1年以上3年未満	30	8	9	7	1	5	-	-
		100.0	26.7	30.0	23.3	3.3	16.7	-	-
	3年以上5年未満	23	5	9	3	2	3	1	-
		100.0	21.7	39.1	13.0	8.7	13.0	4.3	-
	5年以上10年未満	43	14	15	9	3	1	1	-
	100.0	32.6	34.9	20.9	7.0	2.3	2.3	-	
10年以上20年未満	191	65	61	31	16	11	7	-	
	100.0	34.0	31.9	16.2	8.4	5.8	3.7	-	
20年以上	826	439	219	104	36	11	16	1	
	100.0	53.1	26.5	12.6	4.4	1.3	1.9	0.1	

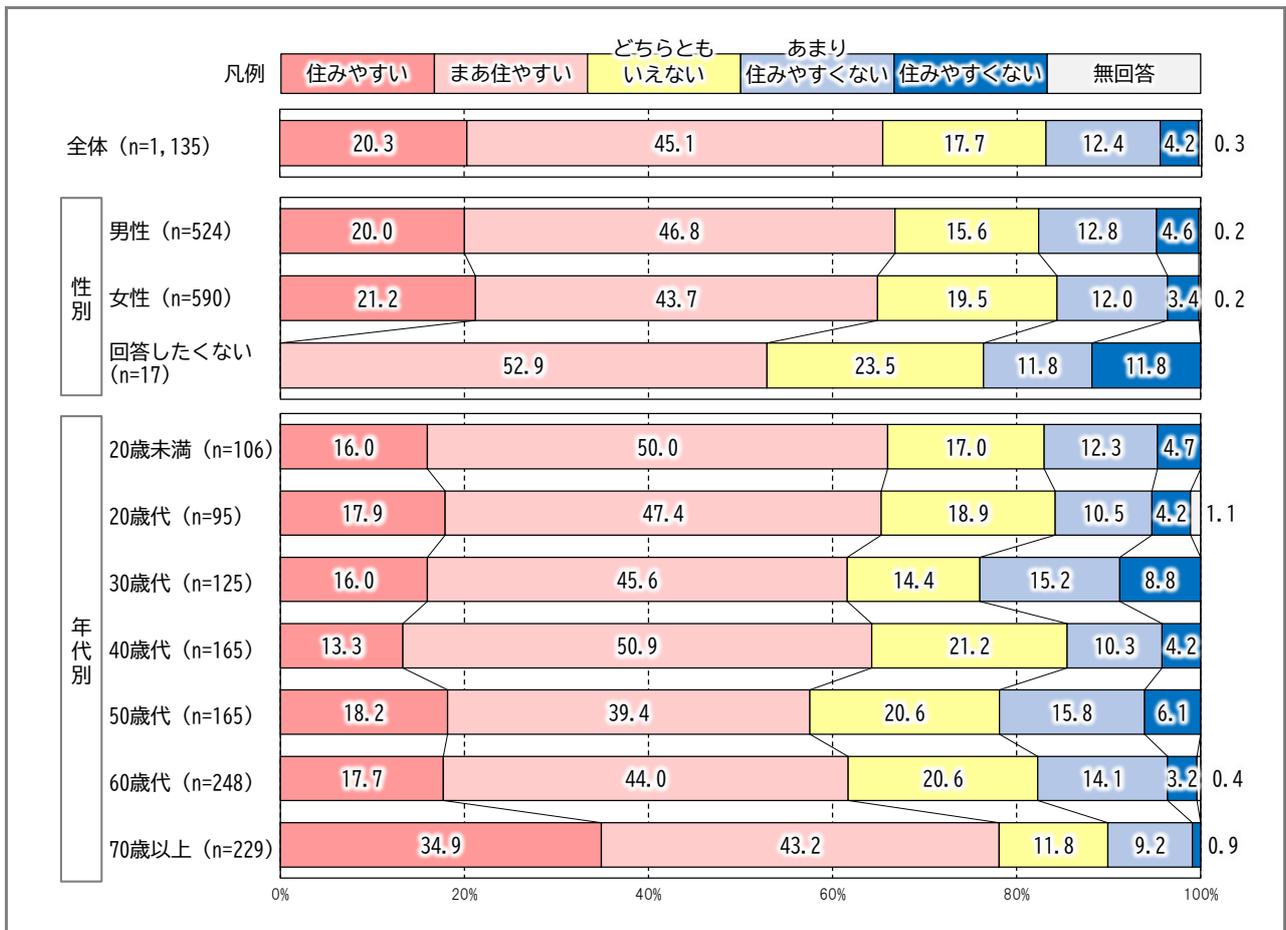
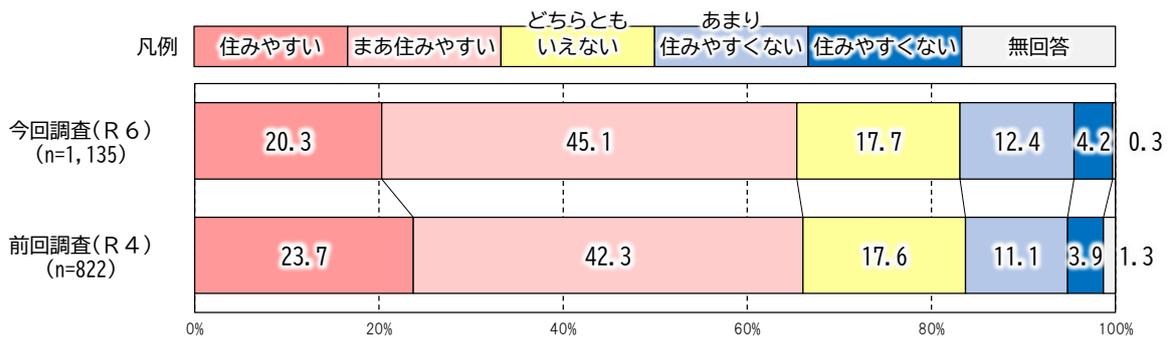
【問2】あなたは、日田市を住みやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

日田市の住みやすさについては、住みやすいと感じる人^{※1}が65.4%、住みやしくないと感じる人^{※2}が16.6%となっています。

年代別にみると、住みやすいと感じる人の割合は、「70歳以上」で7割以上を占めています。前回調査と比較すると、住みやすいと感じる人の割合が0.6ポイント低くなっています。

※1 「住みやすい」若しくは「まあ住みやすい」と回答した人

※2 「住みやしくない」若しくは「あまり住みやしくない」と回答した人

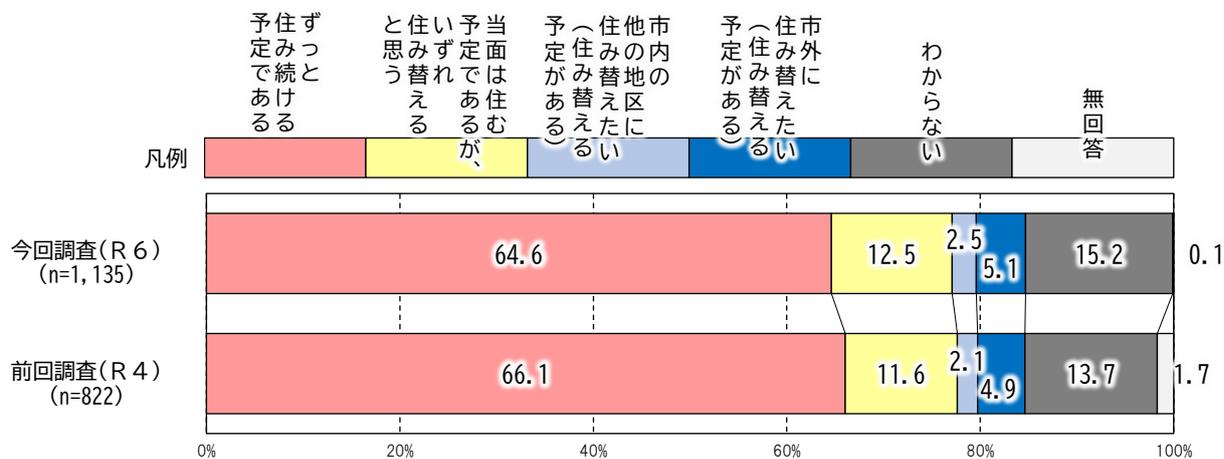


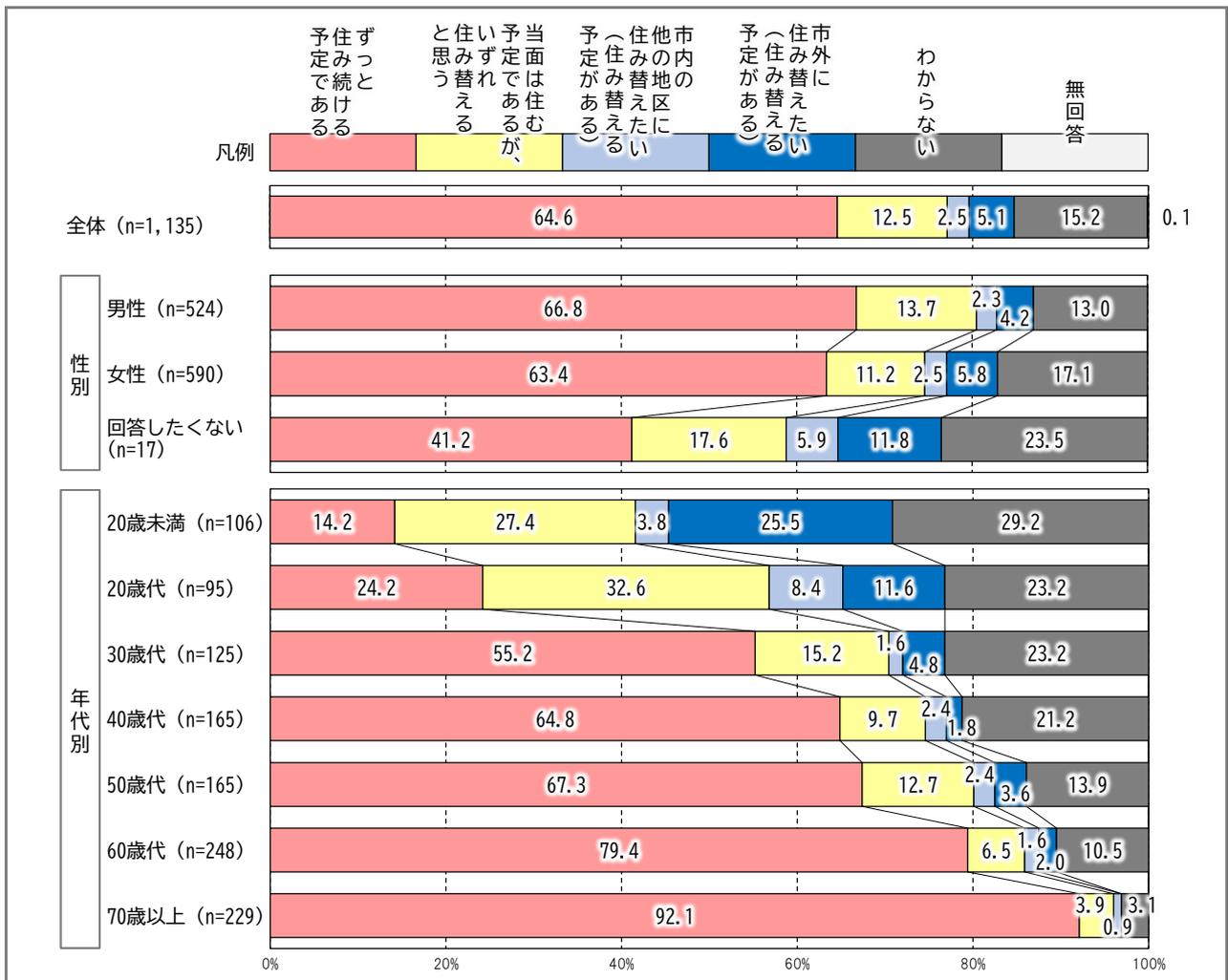
【問3】あなたは、今後も日田市に住み続けるご予定ですか。（○は1つだけ）

今後も日田市に住み続ける意向については、「ずっと住み続ける予定である」が64.6%と最も高く、次いで「わからない」が15.2%、「当面は住む予定であるが、いずれ住み替えると思う」が12.5%の順となっています。

年代別にみると、年代が高くなるにつれて、「ずっと住み続ける予定である」と回答した割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「ずっと住み続ける予定である」の割合は1.5ポイント低く、「わからない」の割合は1.5ポイント高くなっています。

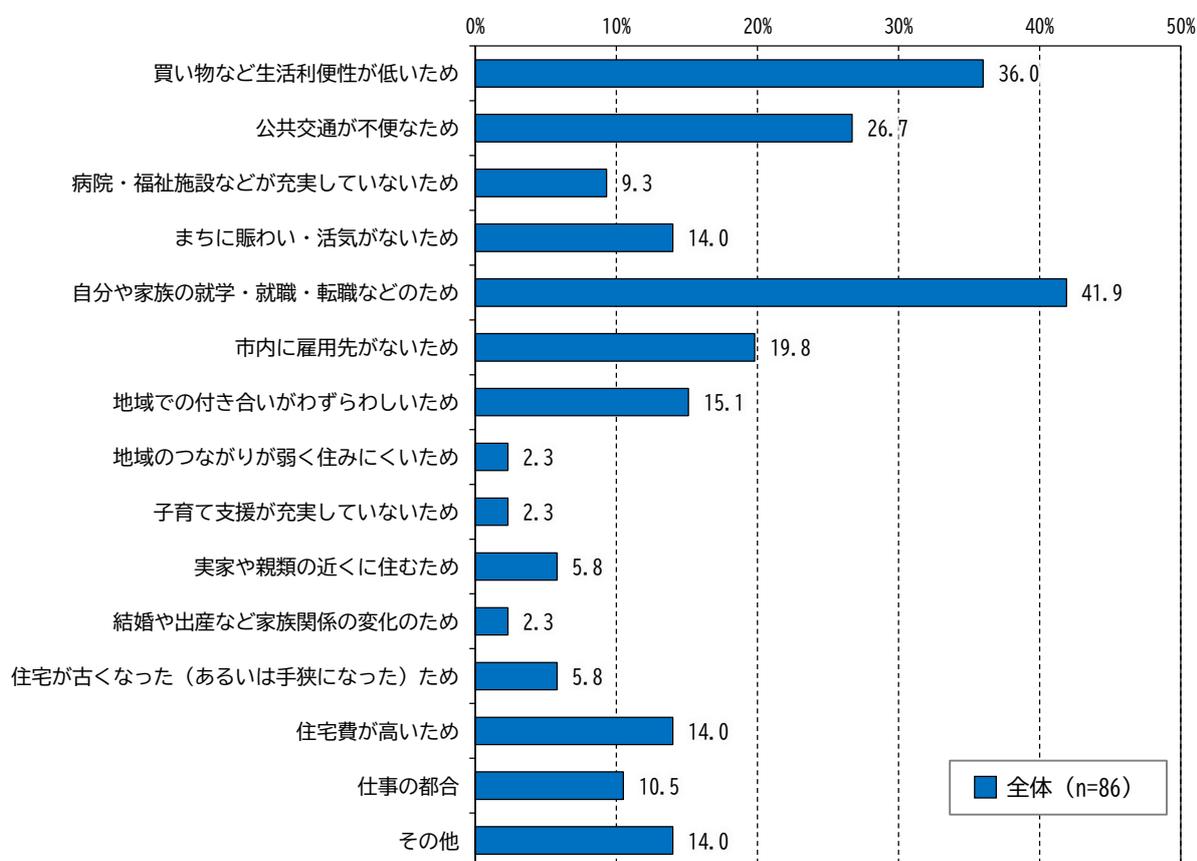




◆問3で住み替える予定があると回答された方にお伺いします。
 【問3-1】住み替えを希望する理由をお答えください。(○は3つまで)

住み替えを希望する理由については、「自分や家族の就学・就職・転職などのため」が41.9%と最も高く、次いで「買い物など生活利便性が低いため」が36.0%、「公共交通が不便なため」が26.7%の順となっています。

性別ごとにみると、「男性」は「買い物など生活利便性が低いため」「自分や家族の就学・就職・転職などのため」、「女性」は「自分や家族の就学・就職・転職などのため」と回答した割合が最も高くなっています。また「まちに賑わい・活気がないため」と回答した割合は「女性」の6.1%に比べて「男性」が26.5%と高くなっています。



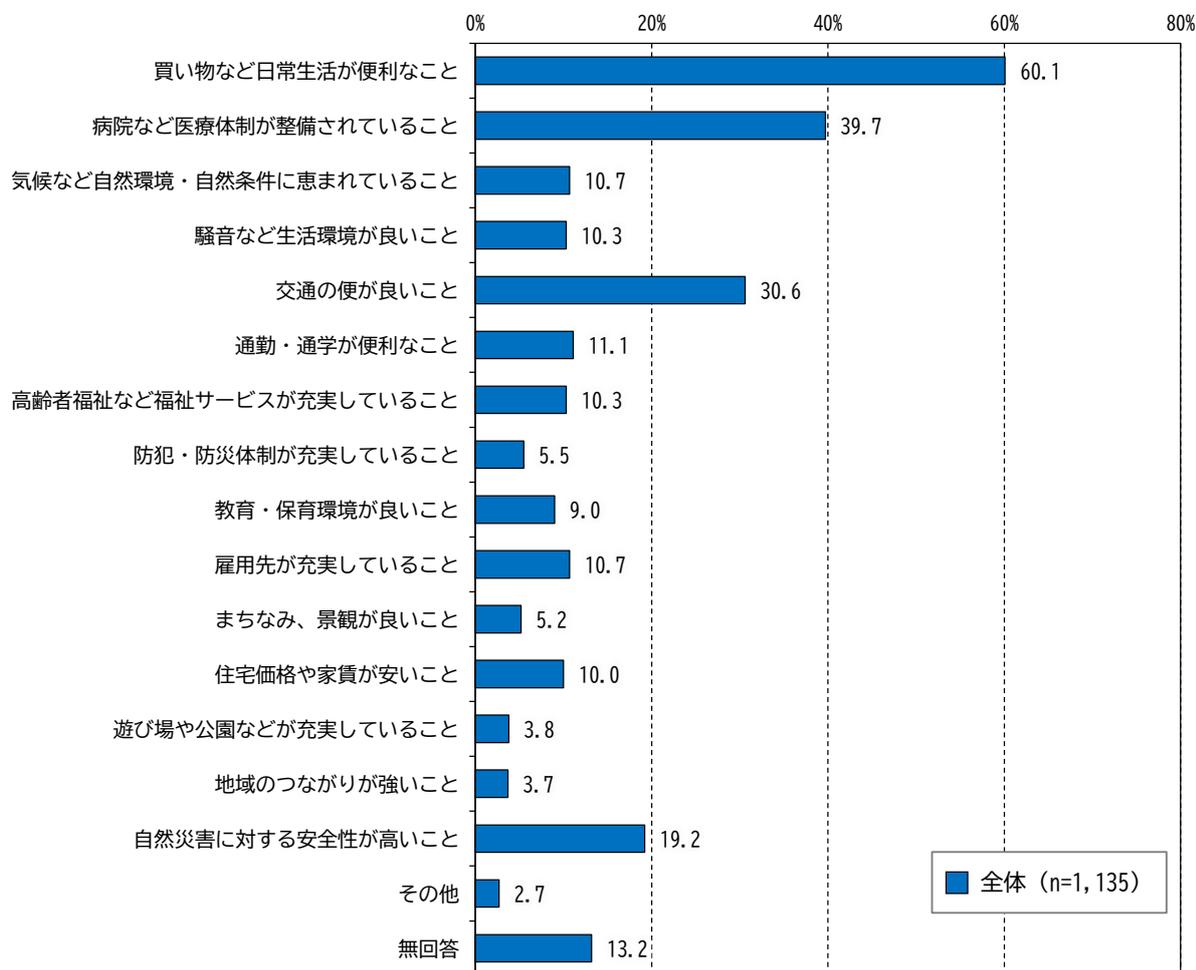
第2章 調査結果「調査対象者」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	低買いたため	公共交通が不便なため	病院・福祉施設などが充	まちに賑わい・活気がな	職・転職などのため	自分や家族の就学・就	市内に雇用先がないため	地域での付き合いがわず	地域のつながりが弱く住	子育て支援が充実してい	実家や親類の近くに住む	結婚や出産など家族関係	住宅が古くなった(ある	住宅費が高いため	仕事の都合	その他
全体	86 100.0	31 36.0	23 26.7	8 9.3	12 14.0	36 41.9	17 19.8	13 15.1	2 2.3	2 2.3	5 5.8	2 2.3	5 5.8	12 14.0	9 10.5	12 14.0		
性別	男性	34 100.0	11 32.4	8 23.5	4 11.8	9 26.5	11 32.4	8 23.5	5 14.7	1 2.9	-	2 5.9	1 2.9	3 8.8	5 14.7	6 17.6	5 14.7	
	女性	49 100.0	17 34.7	13 26.5	4 8.2	3 6.1	23 46.9	9 18.4	8 16.3	1 2.0	2 4.1	3 6.1	1 2.0	2 4.1	6 12.2	3 6.1	7 14.3	
	回答したくない	3 100.0	3 100.0	2 66.7	-	-	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	
年代別	20歳未満	31 100.0	12 38.7	8 25.8	-	3 9.7	24 77.4	8 25.8	1 3.2	-	-	-	-	-	-	3 9.7	1 3.2	1 3.2
	20歳代	19 100.0	5 26.3	3 15.8	1 5.3	3 15.8	8 42.1	6 31.6	3 15.8	-	1 5.3	1 5.3	1 5.3	2 10.5	4 21.1	4 21.1	-	
	30歳代	8 100.0	4 50.0	-	1 12.5	1 12.5	2 25.0	-	2 25.0	-	1 12.5	-	-	-	3 37.5	-	2 25.0	
	40歳代	7 100.0	2 28.6	2 28.6	-	1 14.3	-	-	3 42.9	-	-	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	2 28.6	2 28.6	
	50歳代	10 100.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	-	-	3 30.0	-	-	1 10.0	2 20.0	3 30.0	
	60歳代	9 100.0	4 44.4	6 66.7	2 22.2	2 22.2	-	2 22.2	2 22.2	2 22.2	2 22.2	-	-	-	1 11.1	-	-	4 44.4
	70歳以上	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【問4】住む場所を選ぶ際、重視することをお答えください。(○は3つまで)

住む場所を選ぶ際、重視することについては、「買い物など日常生活が便利なこと」が60.1%と最も高く、次いで「病院など医療体制が整備されていること」が39.7%、「交通の便が良いこと」が30.6%の順となっています。

年代別にみると、上記3項目以外に、「20歳未満」では「通勤・通学が便利なこと」、「20歳代」では「住宅価格や家賃が安いこと」、「通勤・通学が便利なこと」、「30歳代」では「教育・保育環境が良いこと」、「40歳代」から「60歳代」では「自然災害に対する安全性が高いこと」、「70歳以上」では「高齢者福祉など福祉サービスが充実していること」の割合が高くなっています。



第2章 調査結果「調査対象者」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	買い物など日常生活が便利なこと	病院など医療体制が整備されていること	気候など自然環境・自然条件に恵まれていること	騒音など生活環境が良いこと	交通の便が良いこと	通勤・通学が便利なこと	高齢者福祉など福祉サービスが充実していること	防犯・防災体制が充実していること	と教育・保育環境が良いこと	と雇用先が充実していること	とまちなみ、景観が良いこと	と住宅価格や家賃が安いこと	遊び場や公園などが充実していること	と地域のつながりが強いこと	自然災害に対する安全性が高いこと	その他	無回答
全体		1,135 100.0	682 60.1	451 39.7	121 10.7	117 10.3	347 30.6	126 11.1	117 10.3	62 5.5	102 9.0	122 10.7	59 5.2	114 10.0	43 3.8	42 3.7	218 19.2	31 2.7	150 13.2
性別	男性	524 100.0	310 59.2	216 41.2	66 12.6	60 11.5	147 28.1	46 8.8	50 9.5	29 5.5	43 8.2	61 11.6	38 7.3	55 10.5	21 4.0	25 4.8	96 18.3	15 2.9	66 12.6
	女性	590 100.0	361 61.2	229 38.8	54 9.2	55 9.3	193 32.7	79 13.4	66 11.2	32 5.4	58 9.8	58 9.8	21 3.6	55 9.3	21 3.6	17 2.9	117 19.8	15 2.5	80 13.6
	回答したくない	17 100.0	9 52.9	5 29.4	1 5.9	2 11.8	5 29.4	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	2 11.8	-	3 17.6	1 5.9	-	5 29.4	1 5.9	3 17.6
年代別	20歳未満	106 100.0	62 58.5	19 17.9	9 8.5	15 14.2	40 37.7	33 31.1	1 0.9	7 6.6	9 8.5	15 14.2	9 8.5	19 17.9	9 8.5	3 2.8	10 9.4	2 1.9	10 9.4
	20歳代	95 100.0	70 73.7	24 25.3	7 7.4	13 13.7	30 31.6	24 25.3	1 1.1	5 5.3	11 11.6	18 18.9	12 12.6	24 25.3	5 5.3	2 2.1	16 16.8	4 4.2	3 3.2
	30歳代	125 100.0	79 63.2	46 36.8	14 11.2	14 11.2	30 24.0	13 10.4	5 4.0	7 5.6	31 24.8	20 16.0	6 4.8	22 17.6	13 10.4	1 1.6	17 13.6	6 4.8	6 4.8
	40歳代	165 100.0	101 61.2	59 35.8	18 10.9	21 12.7	48 29.1	27 16.4	8 4.8	11 6.7	27 16.4	19 11.5	8 4.8	16 9.7	10 6.1	6 3.6	33 20.0	6 3.6	16 9.7
	50歳代	165 100.0	107 64.8	65 39.4	16 9.7	21 12.7	60 36.4	19 11.5	15 9.1	12 7.3	14 8.5	26 15.8	8 4.8	17 10.3	2 1.2	5 3.0	41 24.8	2 1.2	16 9.7
	60歳代	248 100.0	147 59.3	133 53.6	26 10.5	23 9.3	83 33.5	6 2.4	38 15.3	13 5.2	7 2.8	19 7.7	9 3.6	10 4.0	3 1.2	6 2.4	65 26.2	2 0.8	41 16.5
	70歳以上	229 100.0	116 50.7	105 45.9	31 13.5	10 4.4	56 24.5	4 1.7	49 21.4	7 3.1	3 1.3	5 2.2	7 3.1	5 2.2	1 0.4	18 7.9	36 15.7	9 3.9	57 24.9

2) 施策評価について

【問5】日田市では各分野で様々な施策に取り組んでいます。施策に対するあなたの現在の満足度と今後の重要度についてお聞かせ下さい。（「現在の満足度」と「今後の重要度」それぞれに○は1つずつ）

① 個別項目の満足度評価と重要度評価を評点化（全体）

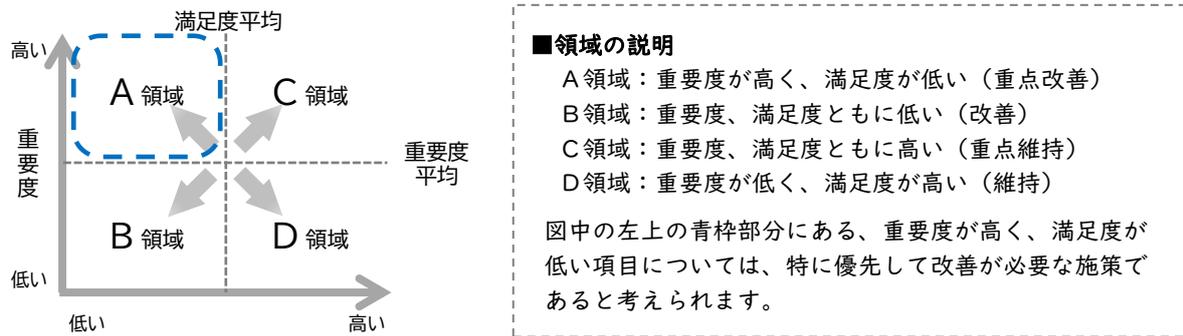
■評価方法（加重平均）
 ※満足度評点：満足（100）、やや満足（50）、どちらともいえない（0）、やや不満（-50）、不満（-100）として、回答者の平均得点を算出
 ※重要度評点：重要（100）、やや重要（50）、どちらともいえない（0）、あまり重要でない（-50）、重要でない（-100）として、回答者の平均得点を算出
 算出結果の数値が高いほど、「満足度」では満足している、「重要度」では重要と考えている指標となります。

② 施策別評価結果一覧

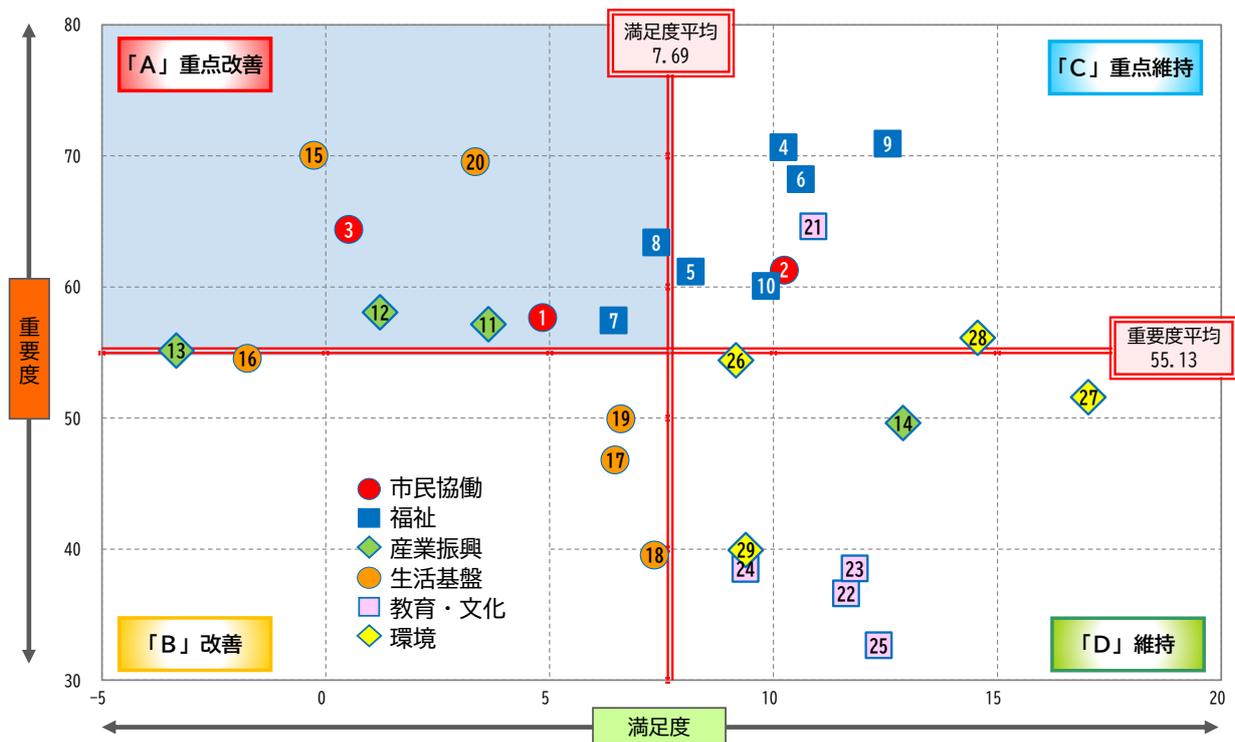
分野	番号	施策	重要度			満足度			評価エリア	ニーズ値	
			加重平均値	全体平均との差	相対順位	加重平均値	全体平均との差	相対順位		ニーズ値	相対順位
市民協働	1	市民協働のまちづくり	57.66	2.53	13/29	4.84	-2.85	22/29	A	52.82	14/29
	2	市民サービスの充実・向上	61.29	6.16	9/29	10.24	2.55	10/29	C	51.05	15/29
	3	政策を実行・実現する行財政運営	64.40	9.27	7/29	0.51	-7.18	26/29	A	63.89	3/29
福祉	4	健康づくり、保健・医療の充実	70.66	15.53	2/29	10.22	2.53	11/29	C	60.44	4/29
	5	地域福祉の推進	61.19	6.06	10/29	8.15	0.46	16/29	C	53.04	13/29
	6	子ども・子育て支援の推進	68.22	13.09	5/29	10.61	2.92	9/29	C	57.61	7/29
	7	障がい者（児）福祉の充実	57.46	2.33	14/29	6.43	-1.26	21/29	A	51.03	16/29
	8	高齢者福祉の充実	63.40	8.27	8/29	7.38	-0.31	17/29	A	56.02	10/29
	9	防災・消防・救急体制の強化	70.93	15.80	1/29	12.55	4.86	4/29	C	58.38	6/29
	10	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	60.08	4.95	11/29	9.83	2.14	12/29	C	50.25	17/29
産業振興	11	農業・水産業の振興	57.15	2.02	15/29	3.63	-4.06	23/29	A	53.52	12/29
	12	林業の振興	58.08	2.95	12/29	1.21	-6.48	25/29	A	56.87	8/29
	13	商工業の振興	55.14	0.01	17/29	-3.34	-11.03	29/29	A	58.48	5/29
	14	観光の振興	49.62	-5.51	22/29	12.89	5.20	3/29	D	36.73	22/29
生活基盤	15	道路・河川・公共交通の整備	70.05	14.92	3/29	-0.27	-7.96	27/29	A	70.32	1/29
	16	住環境の整備と維持管理	54.56	-0.57	18/29	-1.75	-9.44	28/29	B	56.31	9/29
	17	公園・緑地の整備と維持管理	46.80	-8.33	23/29	6.46	-1.23	20/29	B	40.34	21/29
	18	地域特性を活かした空間づくり	39.54	-15.59	25/29	7.34	-0.35	18/29	B	32.20	24/29
	19	情報通信基盤の整備と維持管理	49.95	-5.18	21/29	6.59	-1.10	19/29	B	43.36	19/29
	20	減災対策と災害復旧	69.57	14.44	4/29	3.34	-4.35	24/29	A	66.23	2/29
教育・文化	21	学校教育の充実	64.63	9.50	6/29	10.89	3.20	8/29	C	53.74	11/29
	22	文化芸術の振興	36.62	-18.51	28/29	11.62	3.93	7/29	D	25.00	28/29
	23	生涯学習の充実	38.53	-16.60	26/29	11.81	4.12	6/29	D	26.72	27/29
	24	スポーツ・レクリエーションの推進	38.48	-16.65	27/29	9.37	1.68	14/29	D	29.11	26/29
	25	互いに尊重しあえる社会の実現	32.68	-22.45	29/29	12.35	4.66	5/29	D	20.33	29/29
環境	26	地域環境の保全	54.40	-0.73	19/29	9.16	1.47	15/29	D	45.24	18/29
	27	良好な水資源の確保	51.59	-3.54	20/29	17.03	9.34	1/29	D	34.56	23/29
	28	資源循環と地球温暖化対策の推進	56.13	1.00	16/29	14.56	6.87	2/29	C	41.57	20/29
	29	環境意識の向上	39.94	-15.19	24/29	9.38	1.69	13/29	D	30.56	25/29
平均			55.13			7.69				47.44	

※ニーズ値 = 重要度加重平均値 - 満足度加重平均値 で算出

各個別項目における満足度評点と重要度評点の相関関係を表すと、以下のような図になります。



評価の結果、重点改善の区分に該当する施策は、「市民協働のまちづくり」「政策を実行・実現する行財政運営」「障がい者（児）福祉の充実」「高齢者福祉の充実」「農業・水産業の振興」「林業の振興」「商工業の振興」「道路・河川・公共交通の整備」「減災対策と災害復旧」となっています。



I：市民協働分野

- ① 市民協働のまちづくり
- ② 市民サービスの充実・向上
- ③ 政策を実行・実現する行財政運営

II：福祉分野

- ④ 健康づくり、保健・医療の充実
- ⑤ 地域福祉の推進
- ⑥ 子ども・子育て支援の推進
- ⑦ 障がい者（児）福祉の充実
- ⑧ 高齢者福祉の充実
- ⑨ 防災・消防・救急体制の強化
- ⑩ 防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実

III：産業振興分野

- ⑪ 農業・水産業の振興
- ⑫ 林業の振興
- ⑬ 商工業の振興
- ⑭ 観光の振興

IV：生活基盤分野

- ⑮ 道路・河川・公共交通の整備
- ⑯ 住環境の整備と維持管理
- ⑰ 公園・緑地の整備と維持管理
- ⑱ 地域特性を活かした空間づくり
- ⑲ 情報通信基盤の整備と維持管理
- ⑳ 減災対策と災害復旧

V：教育・文化分野

- ⑰ 学校教育の充実
- ⑲ 文化芸術の振興
- ⑳ 生涯学習の充実
- ㉑ スポーツ・レクリエーションの推進
- ㉒ 互いに尊重しあえる社会の実現

VI：環境分野

- ㉓ 地域環境の保全
- ㉔ 良好な水資源の確保
- ㉕ 資源循環と地球温暖化対策の推進
- ㉖ 環境意識の向上

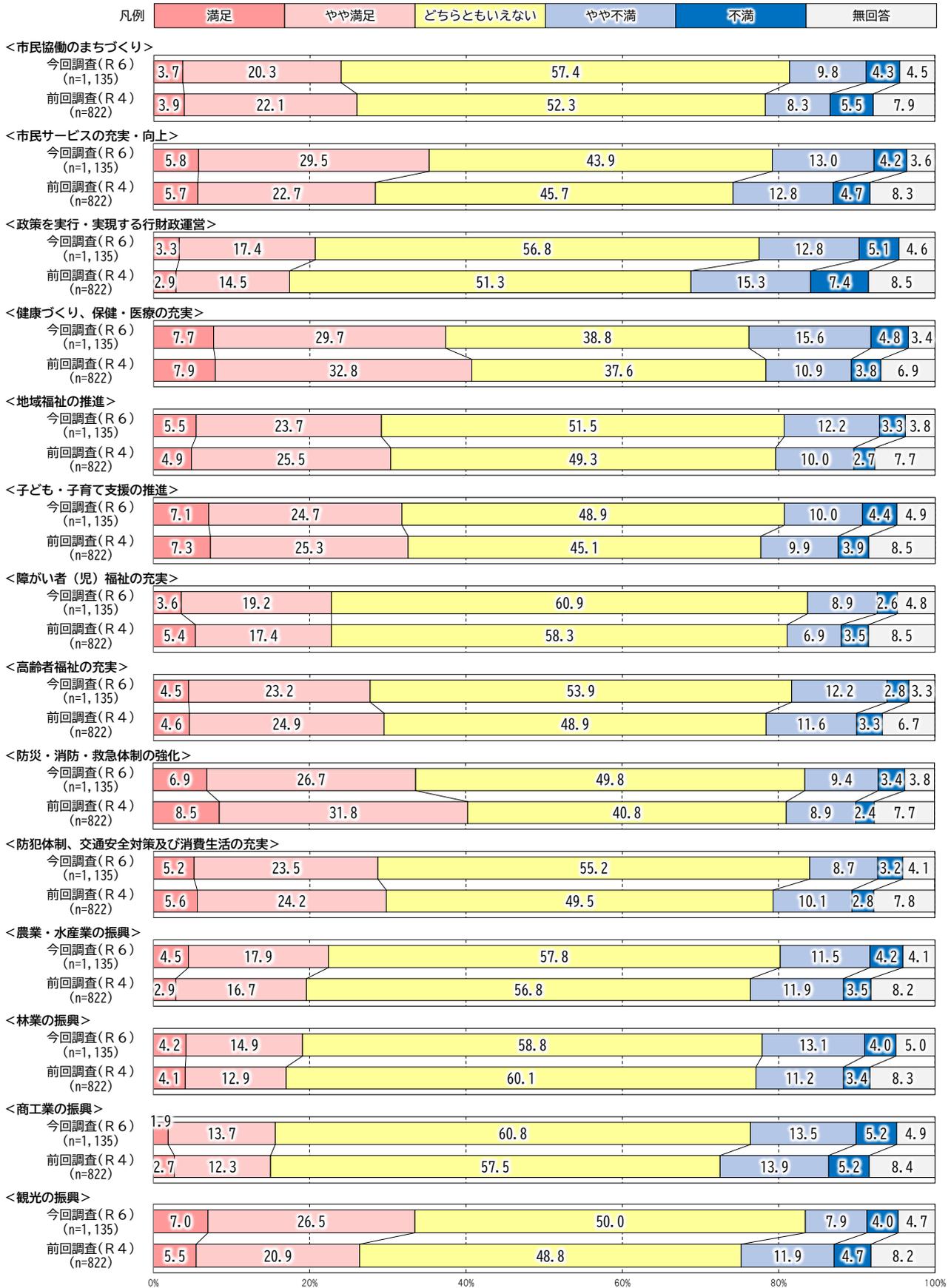
③ 現在の満足度（全体）

現在の満足度については、満足している人^{※1}の割合は、「健康づくり、保健・医療の充実」が37.4%で最も高く、次いで「資源循環と地球温暖化対策の推進」が36.1%、「市民サービスの充実・向上」が35.3%の順となっています。一方、不満がある人^{※2}の割合は、「道路・河川・公共交通の整備」が29.5%と最も高く、次いで「減災対策と災害復旧」が21.7%の順となっています。

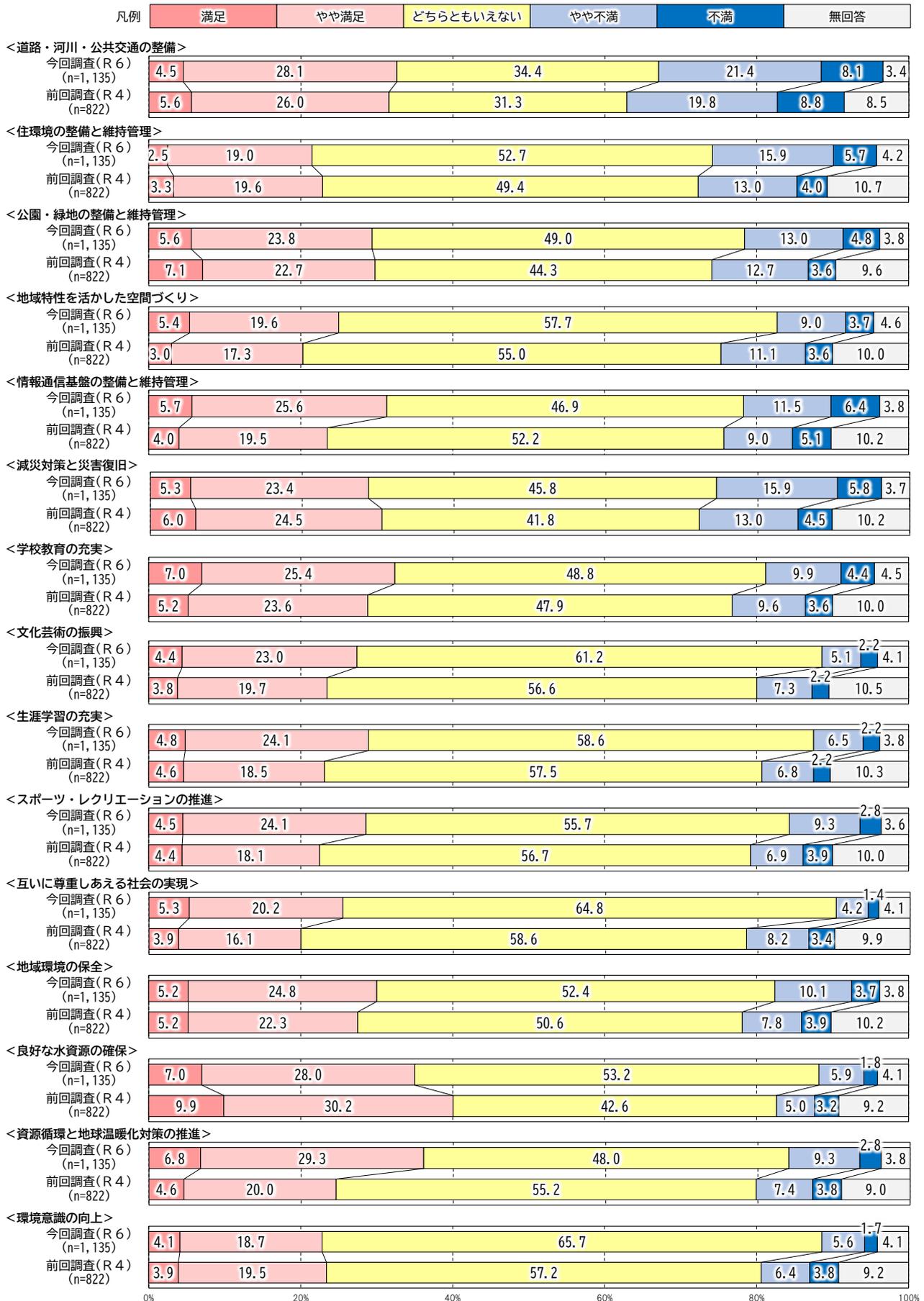
前回調査と比較すると、満足している人の割合が増加している項目は17項目、減少している項目は12項目で、満足している人の割合が増加している項目が比較的多くなっています。項目別で見ると、満足している人の割合が最も増加しているのは「資源循環と地球温暖化対策の推進」となっています。一方、満足している人の割合が最も減少しているのは、「防災・消防・救急体制の強化」となっています。

※1 「満足」若しくは「やや満足」と回答した人

※2 「不満」もしくは「やや不満」と回答した人



第2章 調査結果「施策評価」



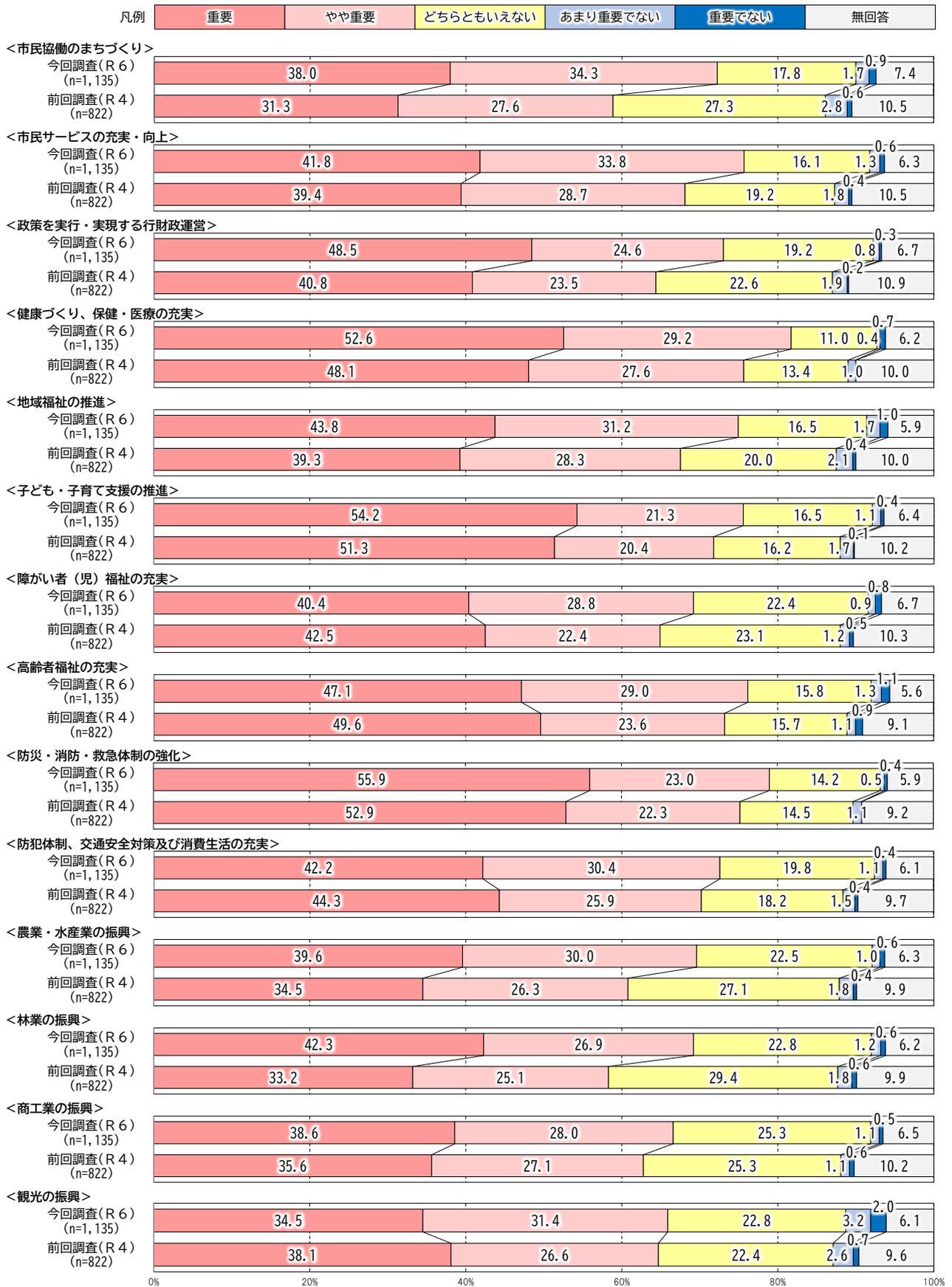
④ 今後の重要度（全体）

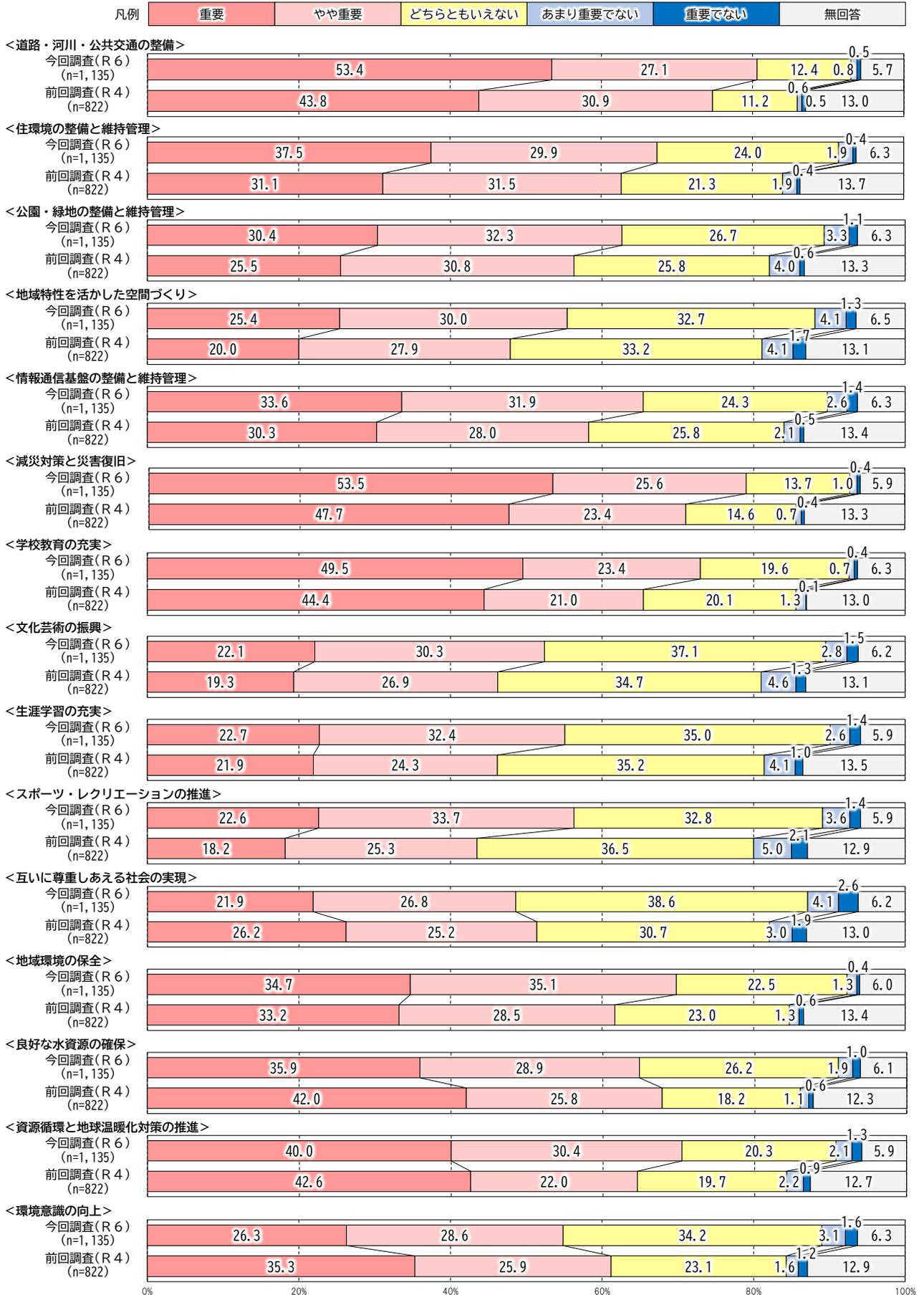
今後の重要度については、重要性を感じている人^{※1}の割合は、「健康づくり、保健・医療の充実」が81.8%と最も高く、次いで「道路・河川・公共交通の整備」が80.5%、「減災対策と災害復旧」が79.1%の順となっています。

前回調査と比較すると、重要性を感じている人の割合は多くの項目で増加しており、「市民協働のまちづくり」は13.4ポイント、「スポーツ・レクリエーションの推進」は12.8ポイントそれぞれ増加しています。

※1 「重要」若しくは「やや重要」と回答した人

第2章 調査結果「施策評価」



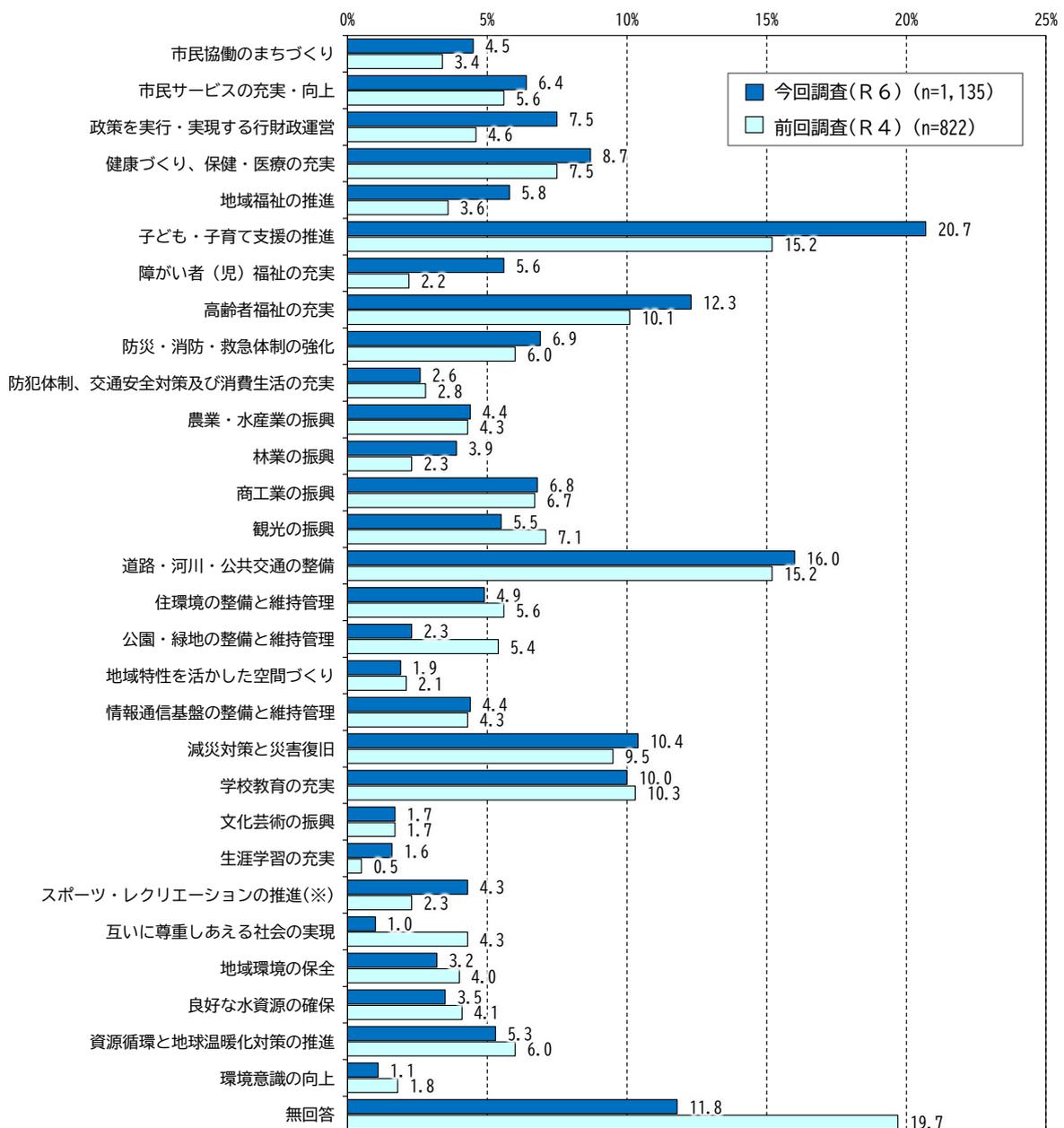


【問6】問5で、まちづくりの施策ごとに「現在の満足度」と「今後の重要度」をお伺いしました。それらを総合的に判断して、今後の日田市において、特に重点的に進めてほしいと思う施策について番号を記入してください。（問5の①～⑳の中から2つまで）

今後の日田市において、特に重点的に進めてほしいと思う施策については、「子ども・子育て支援の推進」が20.7%と最も多く、次いで「道路・河川・公共交通の整備」が16.0%、「高齢者福祉の充実」が12.3%の順となっています。

年代別にみると、「20歳未満」から「40歳代」では「子ども・子育て支援の推進」、「50歳代」「60歳代」では「道路・河川・公共交通の整備」、「70歳以上」では「高齢者福祉の充実」の割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「子ども・子育て支援の推進」は5.5ポイント増加しています。



(※)「スポーツ・レクリエーションの推進」は、前回調査(R4)の「スポーツ・レクリエーションの振興」と比較を行っている

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	市民協働のまちづくり	向上 市民サービスの充実・	行政政策の充実・実現する	健康づくり、保健・医療の充実	地域福祉の推進	子ども・子育て支援の推進	障がい者（児）福祉の充実	高齢者福祉の充実	防災・消防・救急体制の強化	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	農業・水産業の振興	林業の振興	商工業の振興	観光の振興	道路・河川・公共交通の整備
全体	1,135 100.0	51 4.5	73 6.4	85 7.5	99 8.7	66 5.8	235 20.7	64 5.6	140 12.3	78 6.9	29 2.6	50 4.4	44 3.9	77 6.8	62 5.5	182 16.0	
性別	男性	524 100.0	29 5.5	38 7.3	50 9.5	40 7.6	27 5.2	100 19.1	24 4.6	56 10.7	38 7.3	10 1.9	30 5.7	28 5.3	44 8.4	36 6.9	96 18.3
	女性	590 100.0	22 3.7	34 5.8	33 5.6	58 9.8	37 6.3	134 22.7	40 6.8	81 13.7	38 6.4	19 3.2	18 3.1	15 2.5	31 5.3	25 4.2	85 14.4
	回答したくない	17 100.0	- -	1 5.9	2 11.8	- -	1 5.9	1 5.9	- -	3 17.6	2 11.8	- -	- -	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9
年代別	20歳未満	106 100.0	5 4.7	10 9.4	6 5.7	11 10.4	5 4.7	31 29.2	9 8.5	5 4.7	3 2.8	3 2.8	1 0.9	2 1.9	6 5.7	14 13.2	10 9.4
	20歳代	95 100.0	10 10.5	7 7.4	5 5.3	6 6.3	1 1.1	35 36.8	5 5.3	7 7.4	6 6.3	2 2.1	5 5.3	4 4.2	7 7.4	5 5.3	13 13.7
	30歳代	125 100.0	9 7.2	5 4.0	4 3.2	17 13.6	7 5.6	58 46.4	5 4.0	6 4.8	10 8.0	6 4.8	5 4.0	1 0.8	10 8.0	7 5.6	19 15.2
	40歳代	165 100.0	8 4.8	10 6.1	18 10.9	15 9.1	4 2.4	49 29.7	16 9.7	13 7.9	16 9.7	4 2.4	5 3.0	4 2.4	12 7.3	10 6.1	24 14.5
	50歳代	165 100.0	9 5.5	13 7.9	21 12.7	15 9.1	11 6.7	28 17.0	9 5.5	20 12.1	12 7.3	5 3.0	7 4.2	7 4.2	11 6.7	13 7.9	29 17.6
	60歳代	248 100.0	5 2.0	19 7.7	23 9.3	19 7.7	13 5.2	23 9.3	11 4.4	36 14.5	20 8.1	6 2.4	14 5.6	20 8.1	21 8.5	9 3.6	53 21.4
	70歳以上	229 100.0	5 2.2	9 3.9	8 3.5	16 7.0	25 10.9	11 4.8	9 3.9	53 23.1	11 4.8	3 1.3	12 5.2	6 2.6	10 4.4	4 1.7	34 14.8

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	住環境の整備と維持管理	公園・緑地の整備と維持管理	地域特性を活かした空間づくり	情報通信基盤の整備と維持管理	減災対策と災害復旧	学校教育の充実	文化芸術の振興	生涯学習の充実	スポーツ・レクリエーションの推進	互いに尊重しあえる社会の実現	地域環境の保全	良好な水資源の確保	資源循環と地球温暖化対策の推進	環境意識の向上	無回答
全体	1,135 100.0	56 4.9	26 2.3	21 1.9	50 4.4	118 10.4	114 10.0	19 1.7	18 1.6	49 4.3	11 1.0	36 3.2	40 3.5	60 5.3	12 1.1	134 11.8	
性別	男性	524 100.0	25 4.8	8 1.5	7 1.3	30 5.7	48 9.2	7 1.3	7 1.3	27 5.2	6 1.1	23 4.4	20 3.8	23 4.4	6 1.1	52 9.9	
	女性	590 100.0	31 5.3	18 3.1	14 2.4	18 3.1	70 11.9	65 11.0	12 2.0	11 1.9	21 3.6	5 0.8	12 2.0	17 2.9	35 5.9	6 1.0	76 12.9
	回答したくない	17 100.0	- -	- -	- -	2 11.8	- -	1 5.9	- -	- -	1 5.9	- -	1 5.9	2 11.8	2 11.8	- -	5 29.4
年代別	20歳未満	106 100.0	4 3.8	2 1.9	2 1.9	4 3.8	6 5.7	20 18.9	1 0.9	2 1.9	10 9.4	1 0.9	5 4.7	1 0.9	1 0.9	1 0.9	11 10.4
	20歳代	95 100.0	8 8.4	- -	4 4.2	4 4.2	13 13.7	5 5.3	4 4.2	- -	10 10.5	- -	3 3.2	5 5.3	1 1.1	1 1.1	5 5.3
	30歳代	125 100.0	4 3.2	5 4.0	1 0.8	7 5.6	10 8.0	15 12.0	2 1.6	3 2.4	9 7.2	2 1.6	3 2.4	2 1.6	2 1.6	2 1.6	4 3.2
	40歳代	165 100.0	9 5.5	7 4.2	1 0.6	12 7.3	19 11.5	28 17.0	1 0.6	1 0.6	7 4.2	2 1.2	2 1.2	2 1.2	7 4.2	2 1.2	9 5.5
	50歳代	165 100.0	6 3.6	6 3.6	1 0.6	10 6.1	22 13.3	13 7.9	2 1.2	4 2.4	4 2.4	5 3.0	2 1.2	5 3.0	13 7.9	1 0.6	12 7.3
	60歳代	248 100.0	16 6.5	3 1.2	6 2.4	8 3.2	32 12.9	19 7.7	3 1.2	3 1.2	4 1.6	- -	8 3.2	12 4.8	19 7.7	3 1.2	32 12.9
	70歳以上	229 100.0	9 3.9	3 1.3	6 2.6	5 2.2	16 7.0	14 6.1	6 2.6	5 2.2	5 2.2	1 0.4	13 5.7	12 5.2	17 7.4	2 0.9	60 26.2

3) 市民協働

【問7】あなたは、日田市の市政について関心がありますか。(○は1つだけ)

日田市の市政への関心については、関心がある人^{※1}が69.0%、関心がない人^{※2}が28.5%となっています。

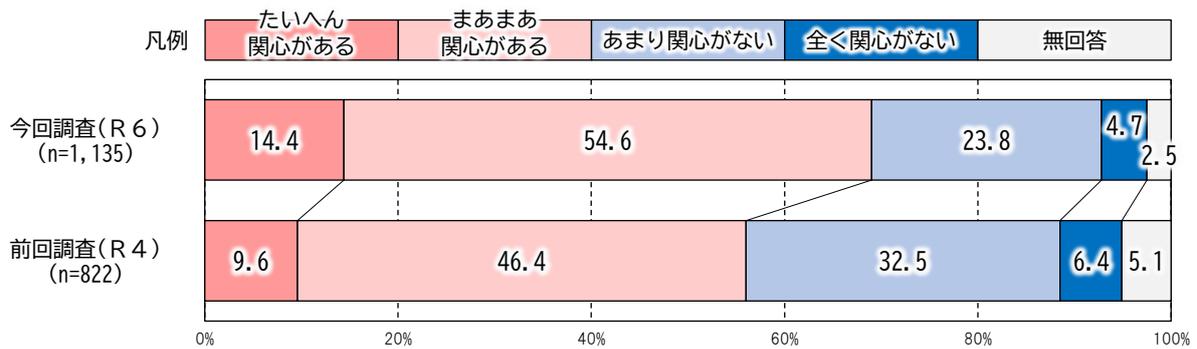
性別ごとにみると、関心がある人は、「男性」が70.4%、「女性」の68.3%と「男性」の方が比2.1ポイント高くなっています。

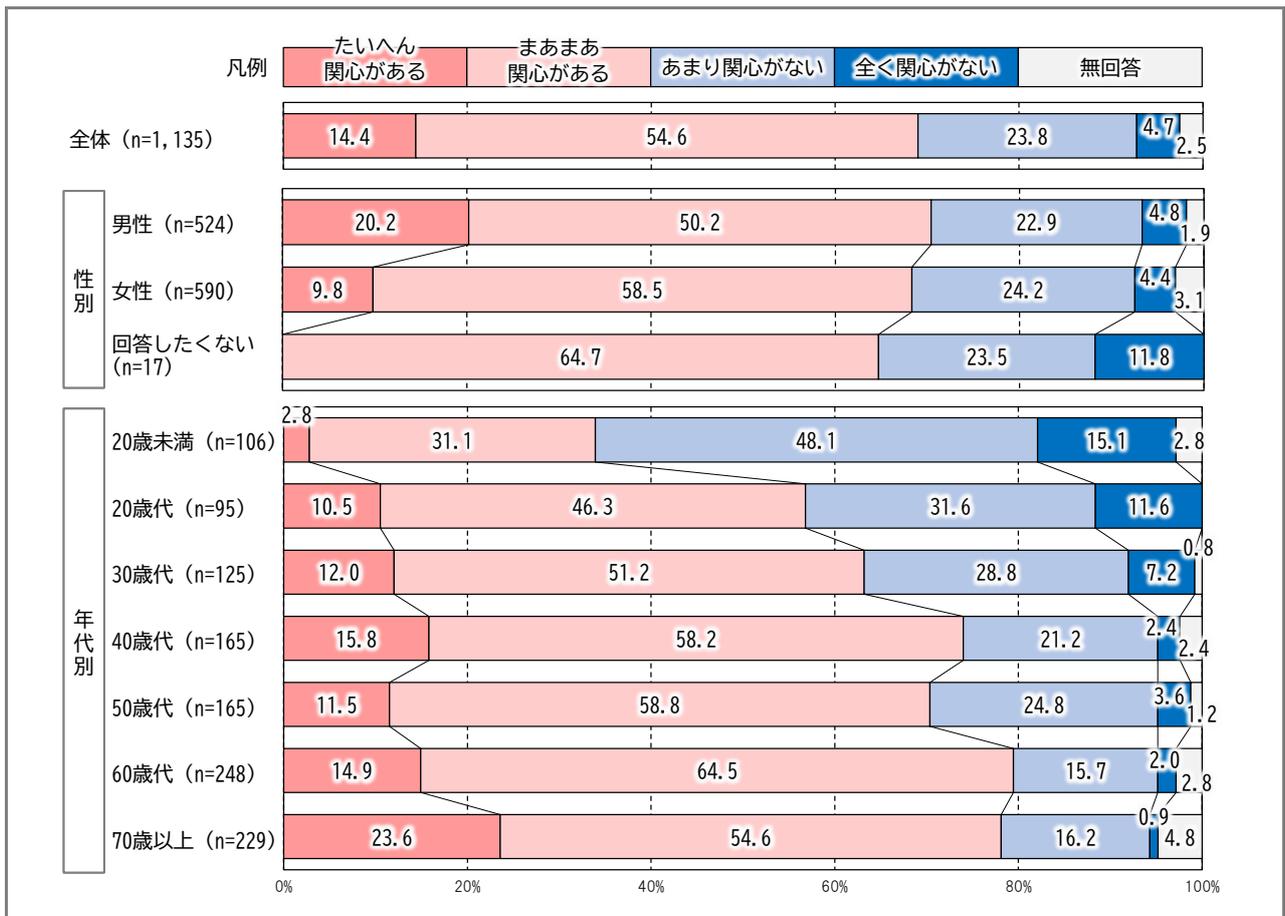
年代別にみると、「20歳未満」以外の年代では、関心がない人に比べ、関心がある人の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、関心がある人の割合が13.0ポイント増加しています。

※1 「たいへん関心がある」若しくは「まあまあ関心がある」と回答した人

※2 「全く関心がない」若しくは「あまり関心がない」と回答した人





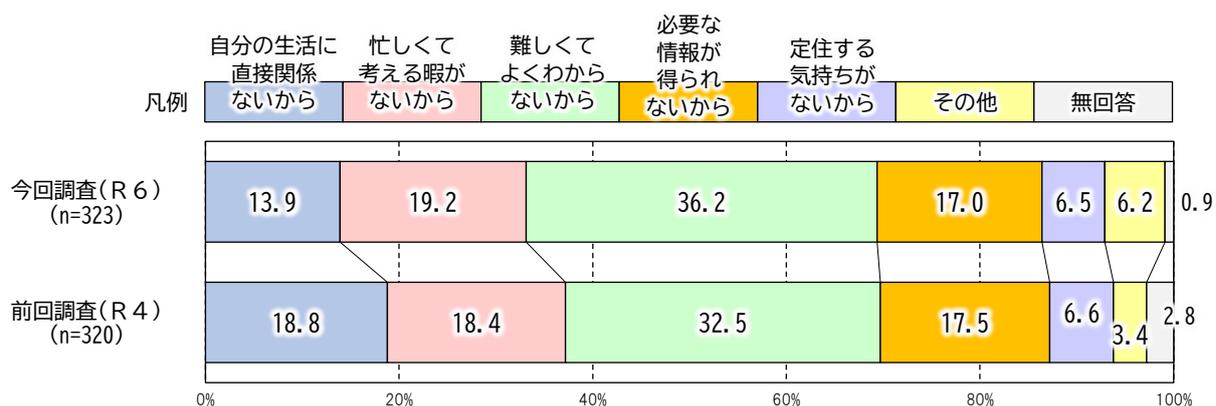
◆問7で市政に関心がないと回答された方にお伺いします。
【問7-1】その理由は何ですか。(○は1つだけ)

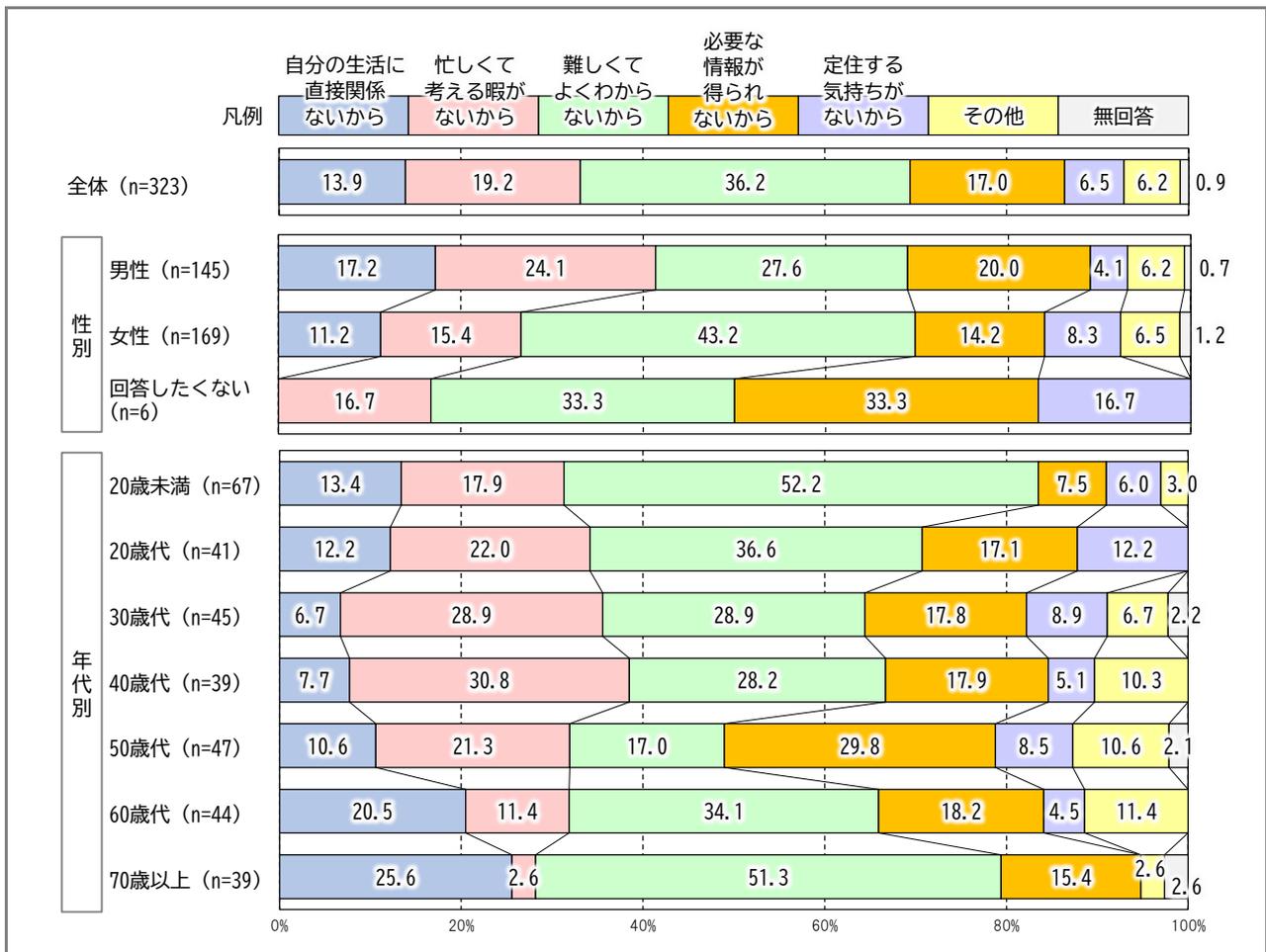
市政に関心がない理由として、「難しくてよくわからないから」が36.2%と最も高く、次いで「忙しくて考える暇がないから」が19.2%、「必要な情報が得られないから」が17.0%の順となっています。

性別ごとにみると、「自分の生活に直接関係ないから」「忙しくて考える暇がないから」「必要な情報が得られないから」と回答した割合は「男性」の方が高く、「難しくてよくわからないから」「定住する気持ちがないから」は女性の方が高くなっています。

年代別にみると、「40歳代」「50歳代」を除いた全ての年代では「難しくてよくわからないから」と回答した割合が最も高く、「40歳代」は「忙しくて考える暇がないから」、50歳代は「必要な情報が得られないから」と回答した割合がそれぞれ最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「自分の生活に直接関係ないから」は4.9ポイント減少しています。





**【問8】あなたは、最新の市政情報（市が提供する情報）の入手について、どう思いますか。
（○は1つだけ）**

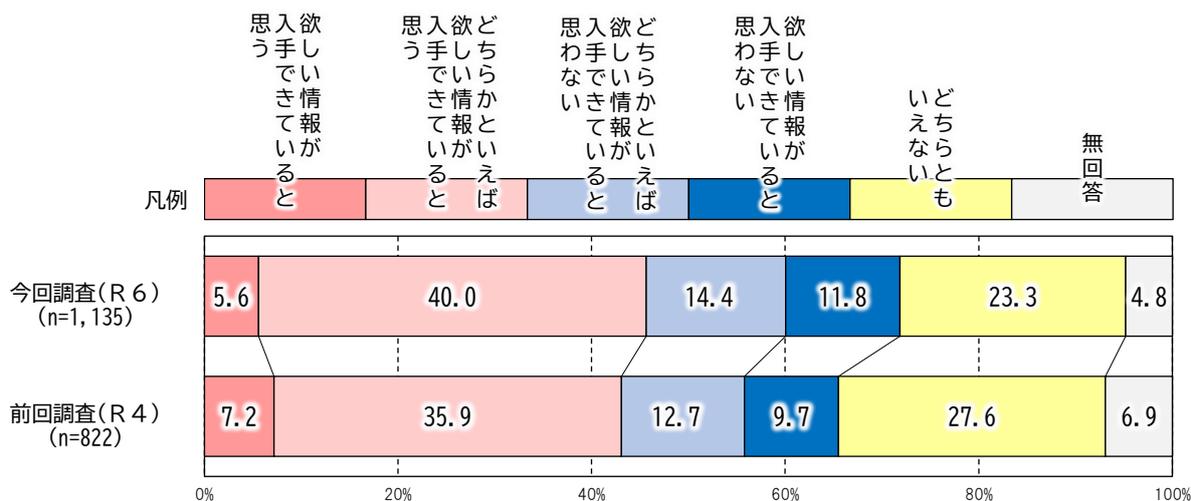
最新の市政情報（市が提供する情報）の入手について、どう思うかについては、欲しい情報が入手できていると思う人^{※1}が45.6%、欲しい情報が入手できていると思わない人^{※2}が26.2%となっています。

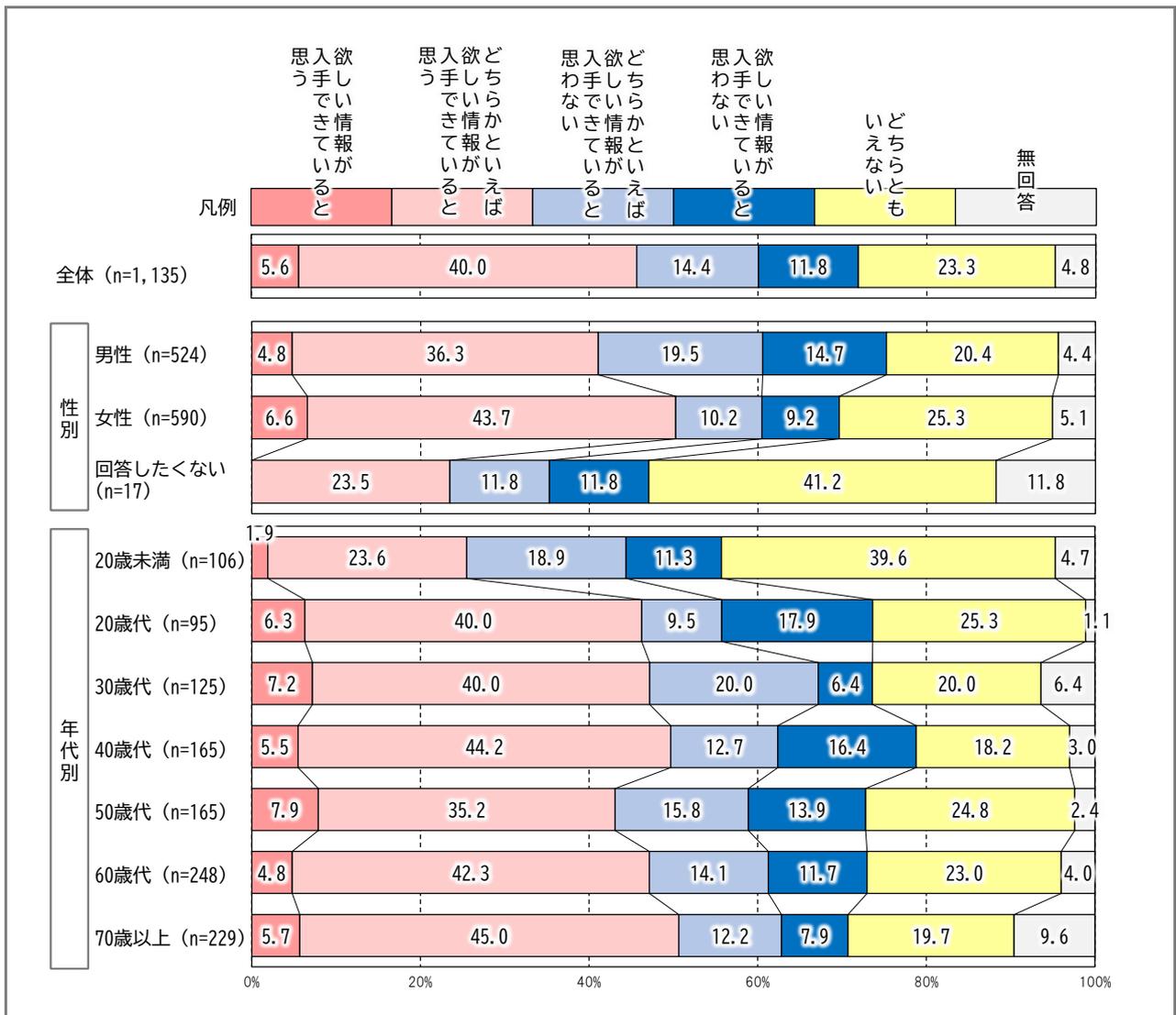
年代別にみると、「20歳未満」以外の年代で欲しい情報が入手できていると思う人の割合が高く、特に「70歳代」では5割を超えており、他の年代に比べて最も高くなっています。

前回調査と比較すると、欲しい情報が入手できていると思う人の割合が2.5ポイント増加しています。

※1 「欲しい情報が入手できていると思う」若しくは「どちらかといえば欲しい情報が入手できていると思う」と回答した人

※2 「欲しい情報が入手できていると思わない」若しくは「どちらかといえば欲しい情報が入手できていると思わない」と回答した人



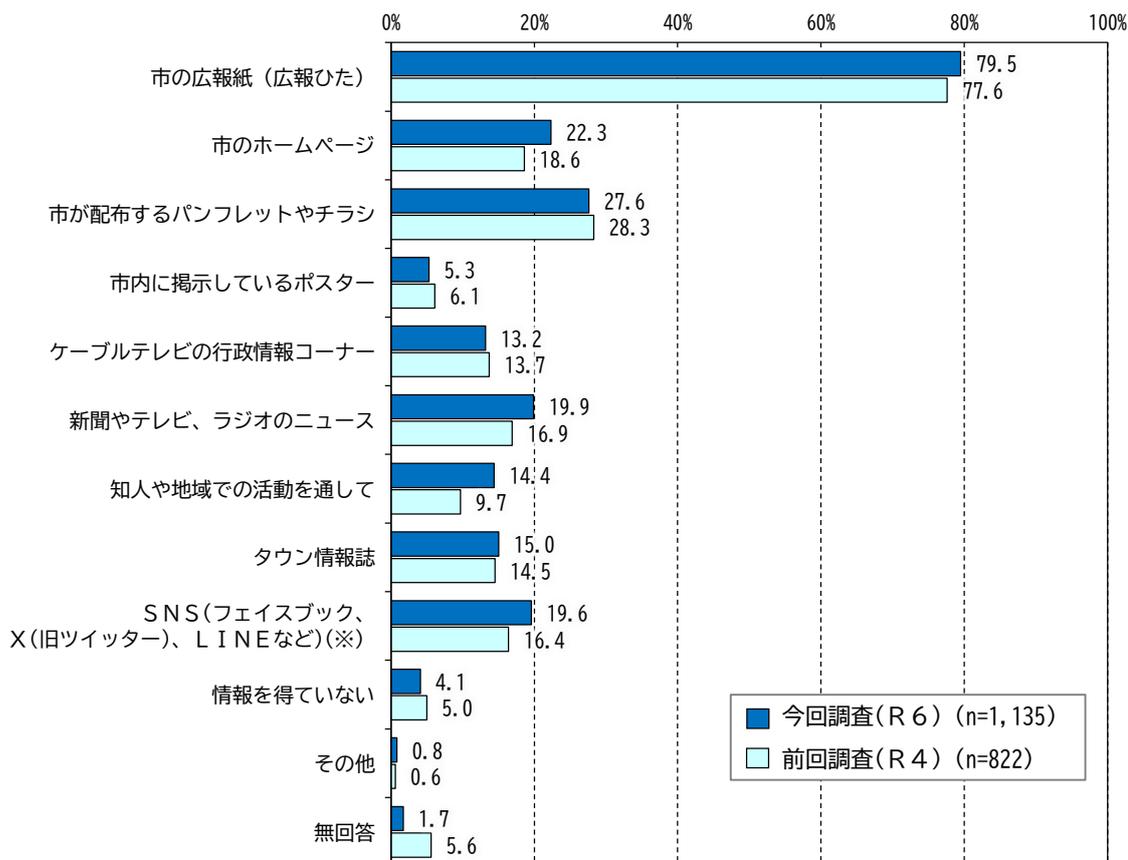


【問9】あなたは、市政情報（市が提供する情報）を主に何から得ていますか。
（○は3つまで）

市政情報（市が提供する情報）を主に何から得ているかについては、「市の広報紙（広報ひた）」が79.5%と最も高く、次いで「市が配布するパンフレットやチラシ」が27.6%、「市のホームページ」が22.3%の順となっています。

年代別にみると、全ての年代で「市の広報紙（広報ひた）」の割合が最も高くなっているものの、「20歳未満」では、他の年代に対しやや低く、4割弱にとどまっています。また、「市の広報紙（広報ひた）」に次いで高い項目は、「20歳未満」は「新聞やテレビ、ラジオのニュース」、「20歳代」「60歳代」「70歳以上」では「市が配布するパンフレットやチラシ」、「30歳代」「40歳代」では「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、LINEなど）」、「50歳代」では「市のホームページ」となっています。

前回調査と比較すると、「市のホームページ」「新聞やテレビ、ラジオのニュース」「知人や地域での活動を通して」「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、LINEなど）」で3ポイント以上増加しています。



※「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、LINEなど）」は、前回調査(R4)の「SNS（フェイスブック、ツイッター、LINEなど）」と比較を行っている

単位： 上段=人 下段=%	サンプル数	市の広報紙 (広報ひた)	市のホームページ	市が配布するパンフレット やチラシ	市内に掲示しているポスター	コーナールテレビの行政情報	新聞やテレビ、ラジオのニュース	知人や地域での活動を通して	タウン情報誌	SNXS(フェイスブック、LINEなど)	情報を得ていない	その他	無回答	
	全体	1,135 100.0	902 79.5	253 22.3	313 27.6	60 5.3	150 13.2	226 19.9	163 14.4	170 15.0	222 19.6	46 4.1	9 0.8	19 1.7
性別	男性	524 100.0	409 78.1	122 23.3	142 27.1	30 5.7	79 15.1	109 20.8	86 16.4	75 14.3	92 17.6	25 4.8	7 1.3	9 1.7
	女性	590 100.0	477 80.8	126 21.4	167 28.3	29 4.9	67 11.4	115 19.5	77 13.1	91 15.4	124 21.0	19 3.2	1 0.2	9 1.5
	回答したくない	17 100.0	12 70.6	4 23.5	2 11.8	- -	4 23.5	1 5.9	- -	3 17.6	6 35.3	2 11.8	1 5.9	1 5.9
年代別	20歳未満	106 100.0	40 37.7	19 17.9	16 15.1	10 9.4	13 12.3	20 18.9	17 16.0	11 10.4	19 17.9	17 16.0	- -	3 2.8
	20歳代	95 100.0	54 56.8	22 23.2	25 26.3	6 6.3	9 9.5	11 11.6	12 12.6	5 5.3	23 24.2	12 12.6	- -	- -
	30歳代	125 100.0	100 80.0	37 29.6	24 19.2	5 4.0	7 5.6	11 8.8	25 20.0	16 12.8	43 34.4	3 2.4	2 1.6	- -
	40歳代	165 100.0	142 86.1	48 29.1	35 21.2	9 5.5	18 10.9	25 15.2	18 10.9	21 12.7	54 32.7	4 2.4	3 1.8	1 0.6
	50歳代	165 100.0	140 84.8	48 29.1	29 17.6	9 5.5	19 11.5	29 17.6	17 10.3	30 18.2	35 21.2	4 2.4	- -	3 1.8
	60歳代	248 100.0	219 88.3	60 24.2	84 33.9	14 5.6	41 16.5	49 19.8	35 14.1	53 21.4	35 14.1	5 2.0	2 0.8	4 1.6
	70歳以上	229 100.0	205 89.5	19 8.3	99 43.2	7 3.1	43 18.8	81 35.4	39 17.0	33 14.4	13 5.7	1 0.4	2 0.9	8 3.5

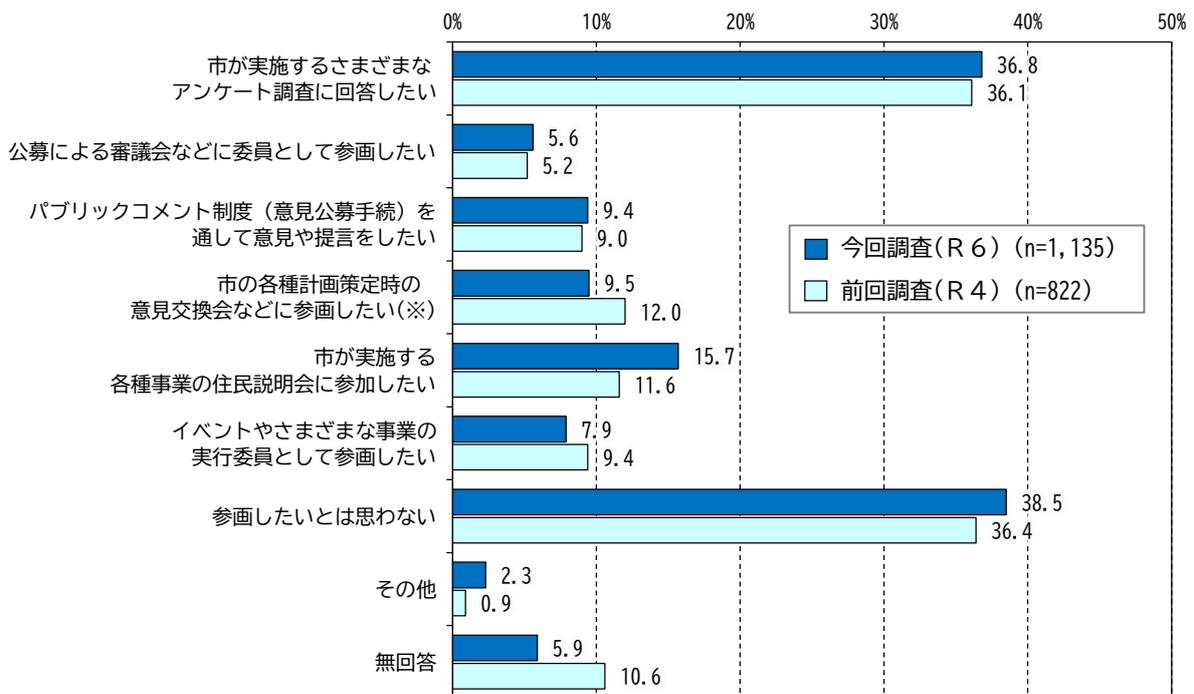
**【問 10】あなたが、市政に参画する機会があった場合、どれに参画したいと思いますか。
(○は3つまで)**

市政に参画する機会があった場合、どれに参画したいと思うかについては、「参画したいとは思わない」が38.5%と最も高く、次いで「市が実施するさまざまなアンケート調査に回答したい」が36.8%、「市が実施する各種事業の住民説明会に参加したい」が15.7%の順となっています。

性別ごとにみると、「参画したいとは思わない」と回答した割合は「男性」34.2%に比べて「女性」42.5%の方が割合は高くなっています。

年代別にみると、「参画したいとは思わない」と回答した割合が「20歳未満」「20歳代」「30歳代」「70歳以上」で最も高く、「40歳代」から「60歳代」まででも2位となっています。

前回調査と比較すると、「市が実施する各種事業の住民説明会に参加したい」は4.1ポイント、「参画したいとは思わない」は2.1ポイント増加しています。



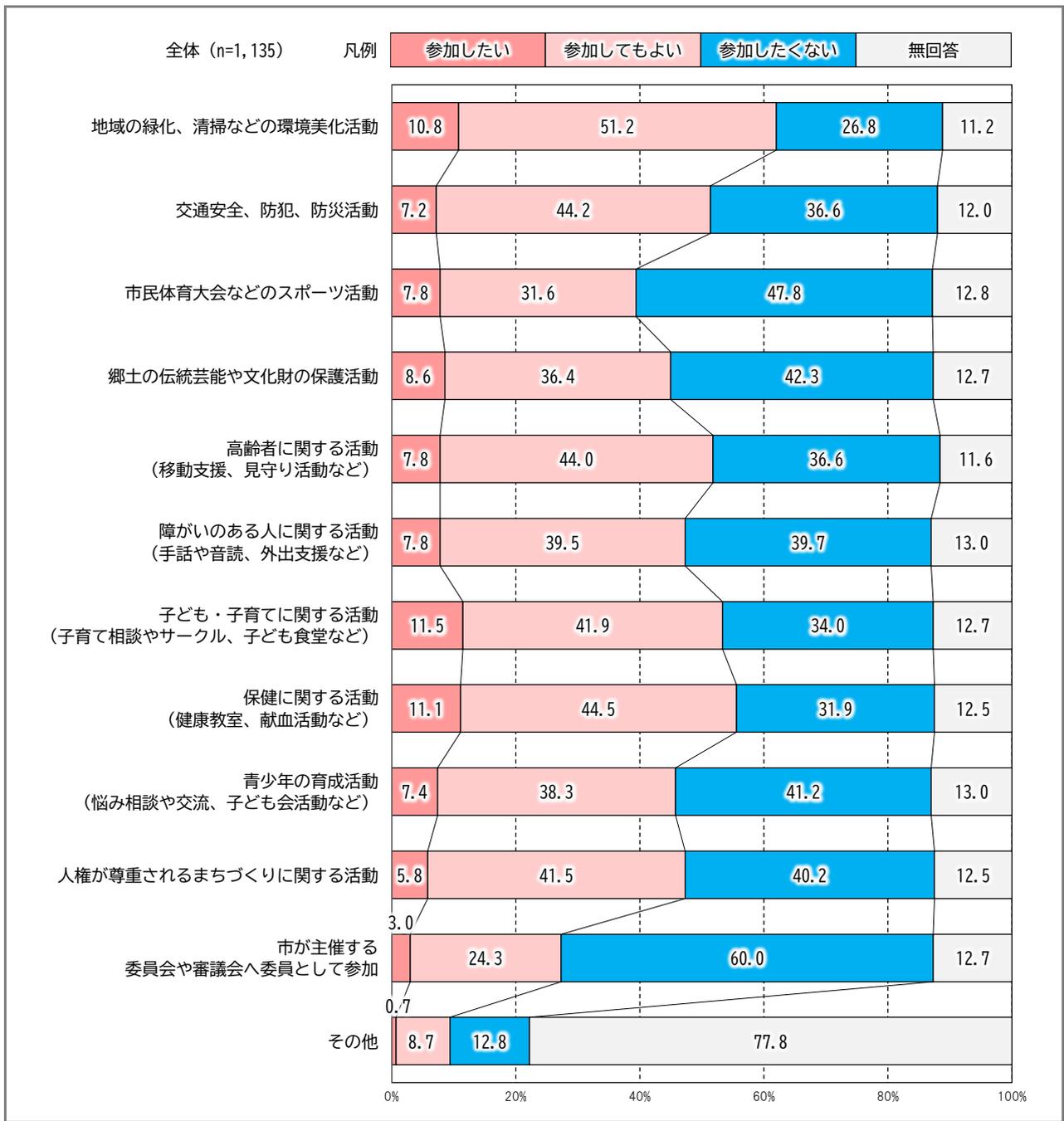
(※)「市の各種計画策定時の意見交換会などに参画したい」は、前回調査(R4)の「市の各種計画策定時のワークショップや市民まちづくり集会などで参画したい」と比較を行っている

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	市が実施するさまざまなアンケート調査に回答したい	公募による審議会などとして委員として参加したい	見公募手続を通して意見を提言をしたい	パブリックコメント制度へ意見交換会などに参加したい	市の各種計画策定時の意見交換会などに参加したい	説明会に参加したい	市が実施する各種事業の住民説明会に参加したい	実行委員として参加したい	イベントやさまざまな事業の開催に協力したい	参加したいとは思わない	その他	無回答
全体		1,135 100.0	418 36.8	63 5.6	107 9.4	108 9.5	178 15.7	90 7.9	437 38.5	26 2.3	67 5.9			
性別	男性	524 100.0	209 39.9	45 8.6	56 10.7	72 13.7	100 19.1	45 8.6	179 34.2	6 1.1	25 4.8			
	女性	590 100.0	199 33.7	17 2.9	49 8.3	36 6.1	75 12.7	44 7.5	251 42.5	19 3.2	41 6.9			
	回答したくない	17 100.0	8 47.1	1 5.9	2 11.8	-	3 17.6	1 5.9	5 29.4	1 5.9	1 5.9			
年代別	20歳未満	106 100.0	31 29.2	4 3.8	10 9.4	3 2.8	6 5.7	12 11.3	57 53.8	-	6 5.7			
	20歳代	95 100.0	35 36.8	7 7.4	12 12.6	10 10.5	7 7.4	12 12.6	39 41.1	-	2 2.1			
	30歳代	125 100.0	41 32.8	8 6.4	14 11.2	10 8.0	17 13.6	11 8.8	60 48.0	-	-			
	40歳代	165 100.0	76 46.1	12 7.3	20 12.1	19 11.5	19 11.5	13 7.9	53 32.1	8 4.8	4 2.4			
	50歳代	165 100.0	62 37.6	8 4.8	20 12.1	14 8.5	26 15.8	13 7.9	61 37.0	2 1.2	8 4.8			
	60歳代	248 100.0	95 38.3	14 5.6	21 8.5	28 11.3	50 20.2	17 6.9	83 33.5	9 3.6	15 6.0			
	70歳以上	229 100.0	77 33.6	10 4.4	10 4.4	24 10.5	53 23.1	12 5.2	83 36.2	7 3.1	32 14.0			

【問 11】あなたはコミュニティ活動やボランティア活動など、今後、参加してみたい活動がありますか。（「今後の参加意向」の項目ごとに〇は1つずつ）

今後、参加してみたい活動※1としては、「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」が62.0%と最も高く、次いで「保健に関する活動（健康教室、献血活動など）」が55.6%、「子育てに関する活動（託児、子育て相談サークルなど）」が53.4%となっています。

※1「参加したい」若しくは「参加してもよい」と回答した人

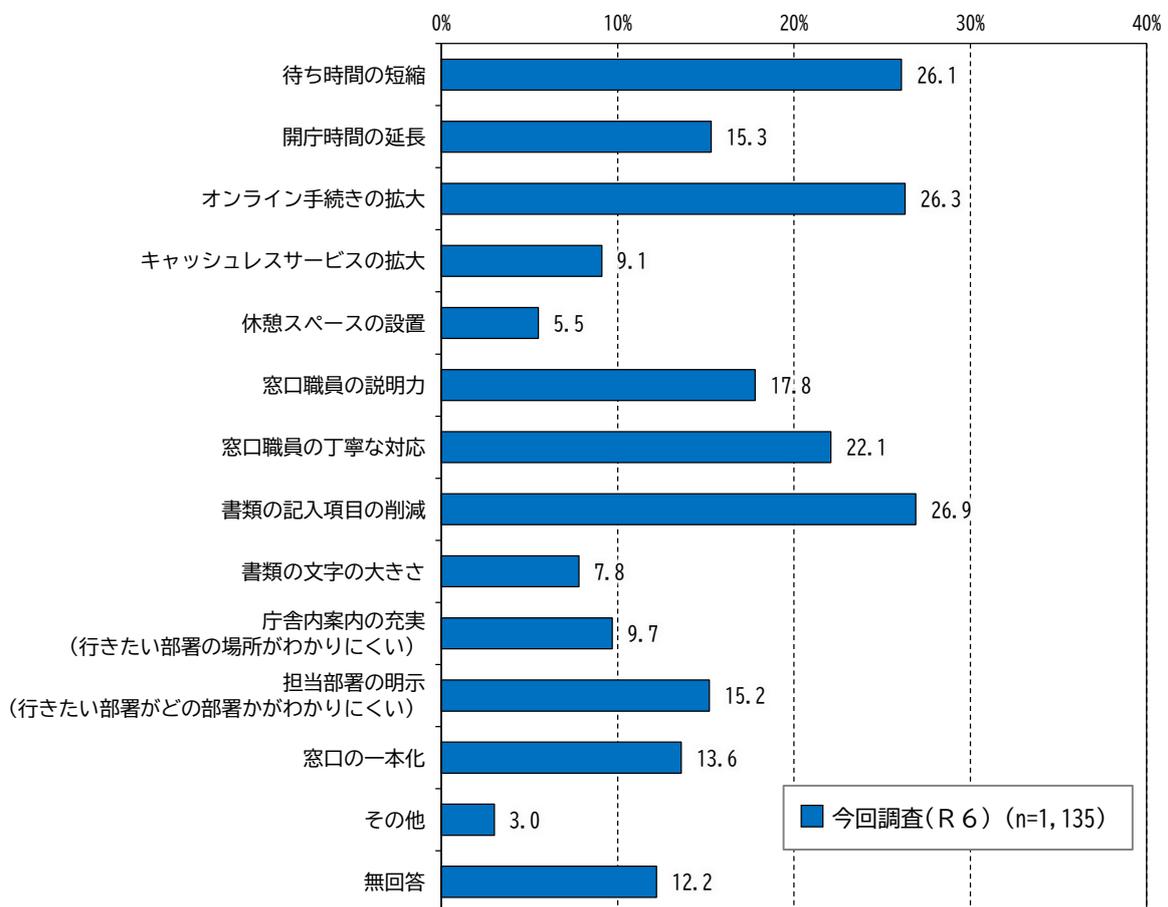


【問 12】あなたが市役所（振興局、振興センター含む）の窓口対応で、改善が必要と感じるものはどれですか。（○は3つまで）

市役所（振興局、振興センター含む）の窓口対応について、改善が必要と感じるものとしては、「書類の記入項目の削減」が26.9%と最も高く、次いで「オンライン手続きの拡大」が26.3%、「待ち時間の短縮」が26.1%の順となっています。

性別ごとにみると、男性は「待ち時間の短縮」と「オンライン手続きの拡大」が最も高く、女性は「書類の記入項目の削減」が最も高くなっています。

年代別にみると、「20歳未満」は「待ち時間の短縮」、「20歳代」から「40歳代」までは「オンライン手続きの拡大」、「50歳代」から「70歳以上」までは「書類の記入項目の削減」の割合が最も高くなっています。



第2章 調査結果「市民協働」

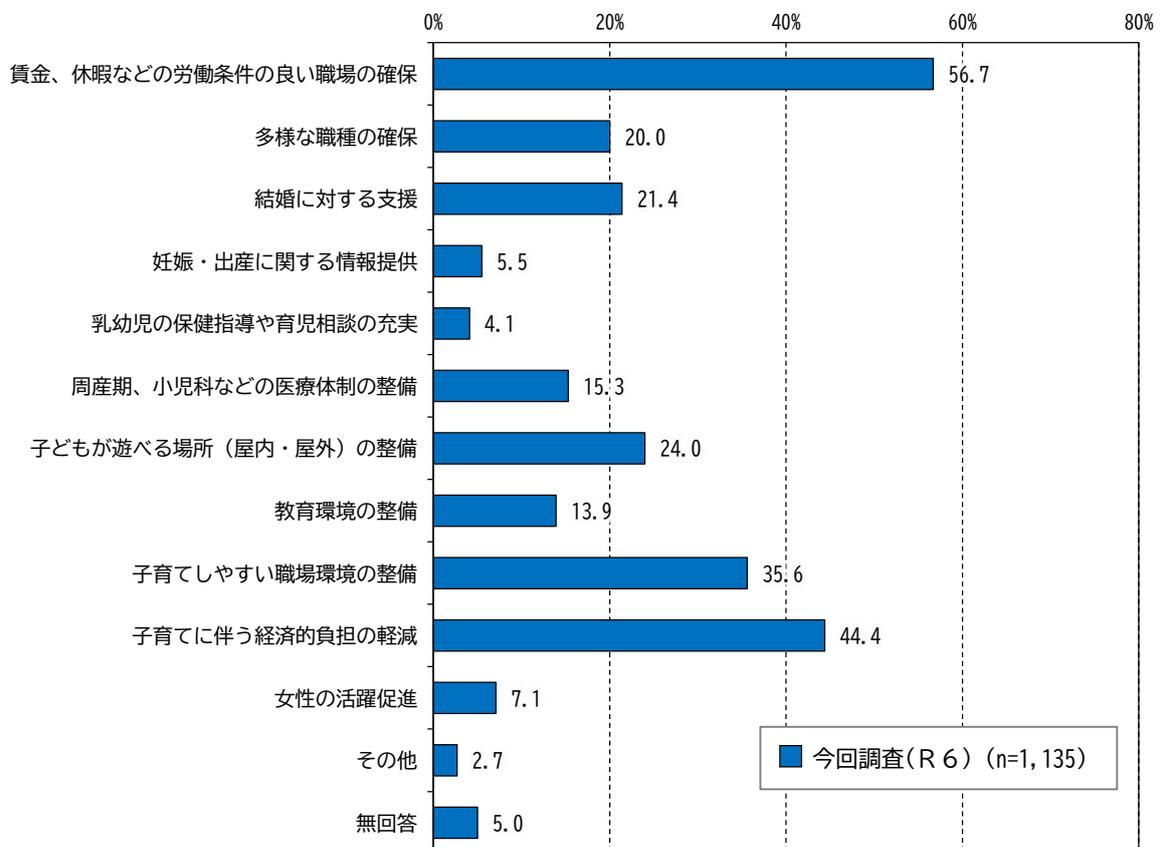
単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	待ち時間の短縮	開庁時間の延長	オンライン手続きの拡大	キャッシュレスサービスの拡大	休憩スペースの設置	窓口職員の説明力	窓口職員の丁寧な対応	書類の記入項目の削減	書類の文字の大きさ	庁舎内案内の充実（行きたい部署の場所がわかりにくい）	担当部署の明示（行きたい部署がどの部署かがわかりにくい）	窓口の一本化	その他	無回答
全体		1,135 100.0	296 26.1	174 15.3	299 26.3	103 9.1	62 5.5	202 17.8	251 22.1	305 26.9	89 7.8	110 9.7	173 15.2	154 13.6	34 3.0	139 12.2
性別	男性	524 100.0	146 27.9	86 16.4	146 27.9	53 10.1	13 2.5	92 17.6	117 22.3	144 27.5	39 7.4	52 9.9	83 15.8	83 15.8	18 3.4	62 11.8
	女性	590 100.0	143 24.2	84 14.2	149 25.3	50 8.5	44 7.5	107 18.1	128 21.7	157 26.6	49 8.3	56 9.5	87 14.7	69 11.7	14 2.4	76 12.9
	回答したくない	17 100.0	6 35.3	3 17.6	3 17.6	-	3 17.6	3 17.6	5 29.4	4 23.5	-	1 5.9	2 11.8	2 11.8	1 5.9	1 5.9
年代別	20歳未満	106 100.0	37 34.9	20 18.9	27 25.5	13 12.3	6 5.7	11 10.4	17 16.0	20 18.9	3 2.8	13 12.3	14 13.2	5 4.7	1 0.9	14 13.2
	20歳代	95 100.0	27 28.4	17 17.9	41 43.2	12 12.6	10 10.5	9 9.5	14 14.7	24 25.3	5 5.3	14 14.7	19 20.0	14 14.7	2 2.1	4 4.2
	30歳代	125 100.0	33 26.4	23 18.4	55 44.0	17 13.6	6 4.8	22 17.6	25 20.0	35 28.0	1 0.8	10 8.0	19 15.2	17 13.6	5 4.0	7 5.6
	40歳代	165 100.0	39 23.6	33 20.0	64 38.8	29 17.6	6 3.6	35 21.2	47 28.5	41 24.8	5 3.0	12 7.3	28 17.0	14 8.5	11 6.7	10 6.1
	50歳代	165 100.0	35 21.2	29 17.6	42 25.5	17 10.3	9 5.5	26 15.8	40 24.2	47 28.5	12 7.3	9 5.5	20 12.1	27 16.4	6 3.6	24 14.5
	60歳代	248 100.0	66 26.6	35 14.1	57 23.0	14 5.6	13 5.2	54 21.8	48 19.4	74 29.8	24 9.7	27 10.9	31 12.5	39 15.7	5 2.0	31 12.5
	70歳以上	229 100.0	59 25.8	17 7.4	13 5.7	1 0.4	11 4.8	45 19.7	60 26.2	64 27.9	38 16.6	24 10.5	41 17.9	38 16.6	4 1.7	49 21.4

4) 福祉

【問 13】あなたは、今後の日田市の少子化対策としてどのようなことが特に重要だと思いますか。(〇は3つまで)

今後の日田市の少子化対策として、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「賃金、休暇などの労働条件の良い職場の確保」が56.7%と最も高く、次いで「子育てに伴う経済的負担の軽減」が44.4%、「子育てしやすい職場環境の整備」が35.6%の順となっています。

年代別にみると、「20歳未満」を除くすべての年代で「賃金、休暇などの労働条件の良い職場の確保」が最も高く、「20歳未満」は、「子育てに伴う経済的負担の軽減」が最も高くなっています。



第2章 調査結果「福祉」

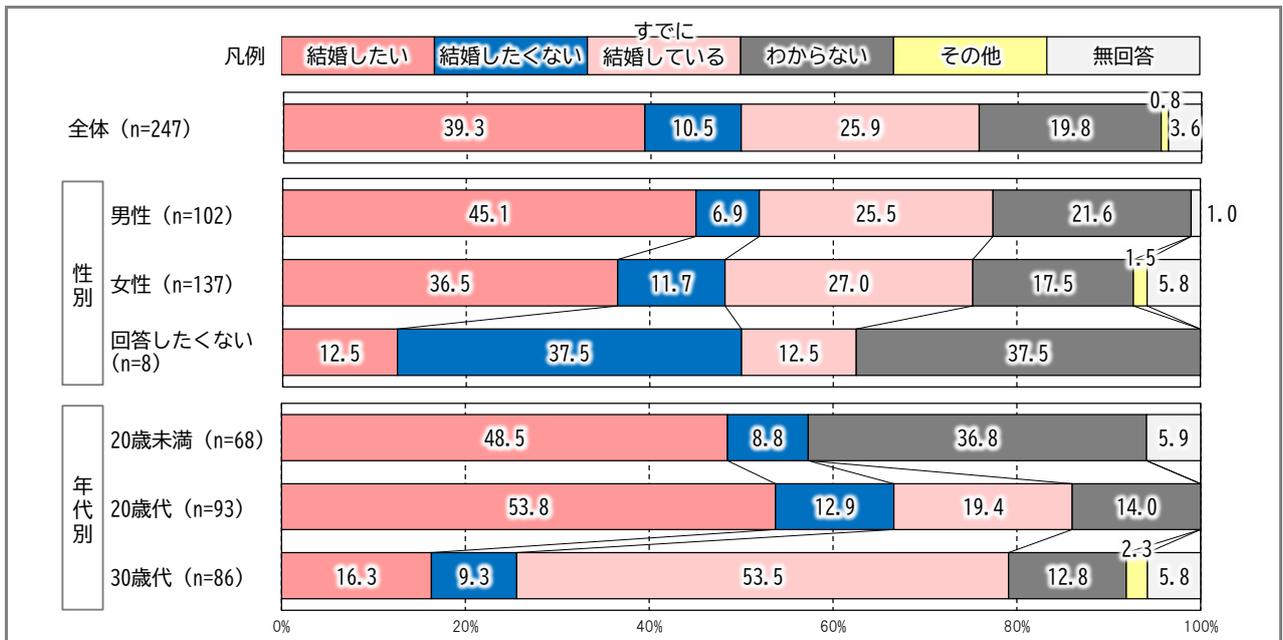
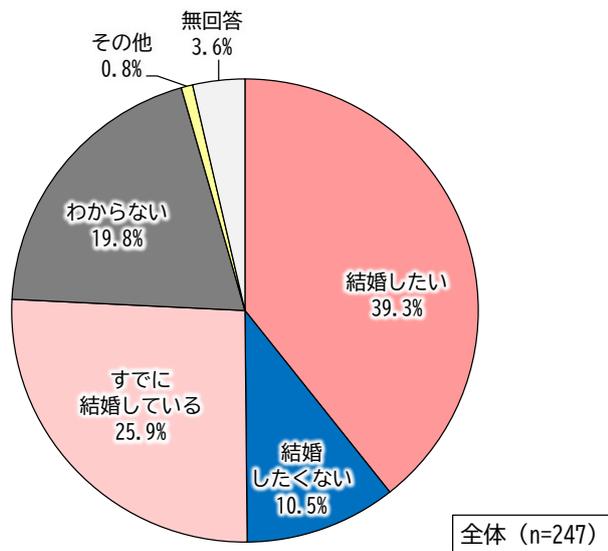
単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	賃金、休暇などの労働条件の良き職場の確保	多様な職種の確保	結婚に対する支援	妊娠・出産に関する情報提供	乳幼児の保健指導や育児相談の充実	周産期、小児科などの医療体制の整備	子どもが遊べる場所（屋内・屋外）の整備	教育環境の整備	子育てしやすい職場環境の整備	子育てに伴う経済的負担の軽減	女性の活躍促進	その他	無回答
全体		1,135 100.0	643 56.7	227 20.0	243 21.4	62 5.5	46 4.1	174 15.3	272 24.0	158 13.9	404 35.6	504 44.4	81 7.1	31 2.7	57 5.0
性別	男性	524 100.0	311 59.4	116 22.1	127 24.2	30 5.7	16 3.1	80 15.3	113 21.6	67 12.8	165 31.5	253 48.3	30 5.7	14 2.7	28 5.3
	女性	590 100.0	322 54.6	104 17.6	112 19.0	32 5.4	30 5.1	92 15.6	156 26.4	90 15.3	227 38.5	243 41.2	49 8.3	14 2.4	28 4.7
	回答したくない	17 100.0	7 41.2	5 29.4	4 23.5	-	-	2 11.8	2 11.8	1 5.9	10 58.8	5 29.4	2 11.8	3 17.6	1 5.9
年代別	20歳未満	106 100.0	47 44.3	19 17.9	23 21.7	13 12.3	3 2.8	14 13.2	24 22.6	18 17.0	29 27.4	58 54.7	3 2.8	2 1.9	7 6.6
	20歳代	95 100.0	59 62.1	14 14.7	29 30.5	10 10.5	3 3.2	17 17.9	20 21.1	6 6.3	40 42.1	53 55.8	3 3.2	2 2.1	2 2.1
	30歳代	125 100.0	78 62.4	20 16.0	21 16.8	10 8.0	3 2.4	27 21.6	38 30.4	10 8.0	47 37.6	63 50.4	10 8.0	7 5.6	1 0.8
	40歳代	165 100.0	90 54.5	31 18.8	22 13.3	9 5.5	8 4.8	33 20.0	61 37.0	31 18.8	54 32.7	81 49.1	6 3.6	3 1.8	3 1.8
	50歳代	165 100.0	100 60.6	39 23.6	35 21.2	8 4.8	5 3.0	25 15.2	34 20.6	24 14.5	60 36.4	69 41.8	14 8.5	4 2.4	5 3.0
	60歳代	248 100.0	147 59.3	52 21.0	60 24.2	7 2.8	12 4.8	43 17.3	54 21.8	40 16.1	98 39.5	99 39.9	22 8.9	2 0.8	11 4.4
	70歳以上	229 100.0	120 52.4	51 22.3	53 23.1	5 2.2	12 5.2	15 6.6	41 17.9	29 12.7	75 32.8	80 34.9	23 10.0	11 4.8	28 12.2

◆18歳～34歳（子育て世代）の方にお伺いします。
 【問13-1】あなたは、結婚したいと思いますか。（○は1つだけ）

結婚したいと思うかについては、「結婚したい」が39.3%と最も高く、次いで「すでに結婚している」が25.9%、「わからない」が19.8%の順となっています。

性別ごとにみると、男性、女性ともに「結婚したい」の割合が最も高いものの、男性は女性に比べ8.6ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20歳未満」と「20歳代」で「結婚したい」の割合が最も高く、「30歳代」は、「すでに結婚している」が最も高くなっています。



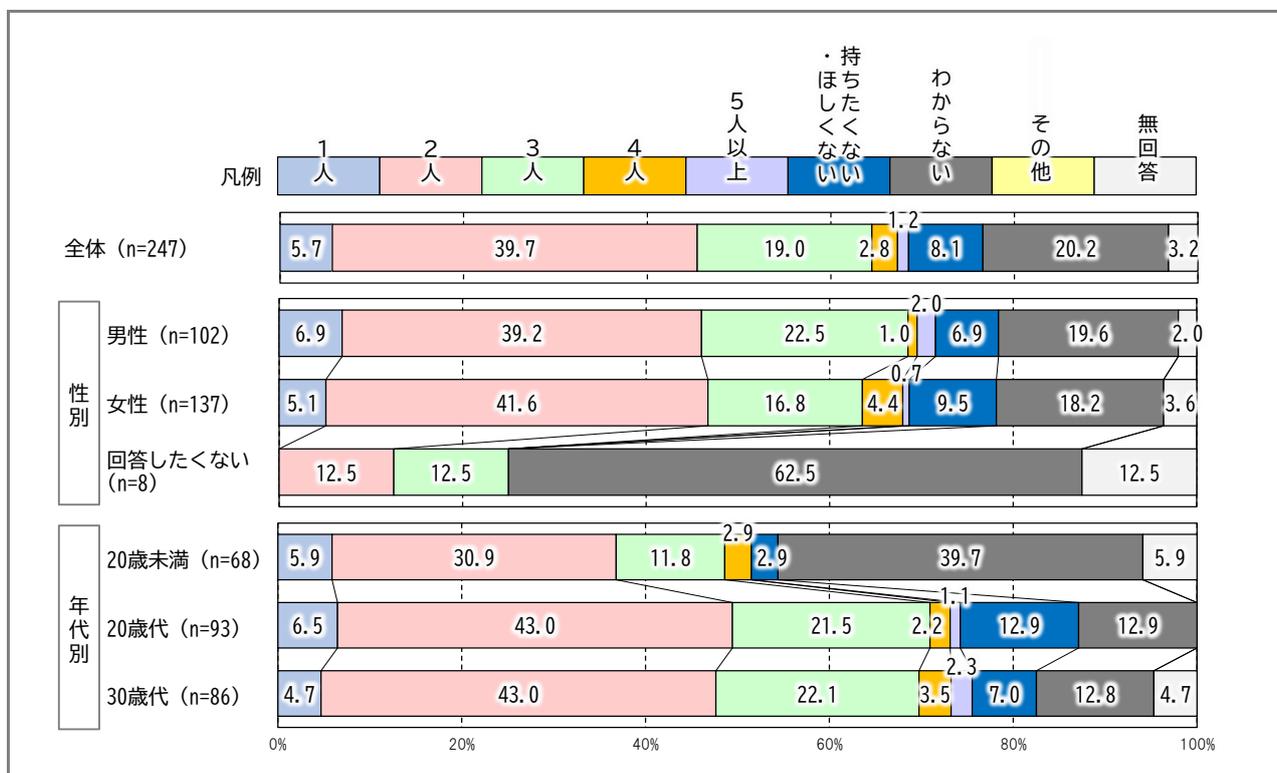
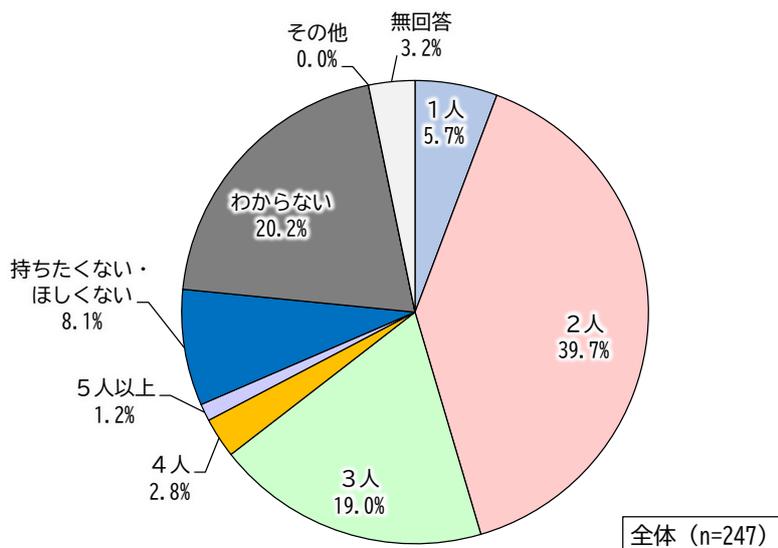
◆18歳～34歳（子育て世代）の方にお伺いします。

【問13-2】あなたの理想の子ども的人数は何人ですか。（○は1つだけ）

理想の子ども的人数については、「2人」が39.7%と最も高く、次いで「わからない」が20.2%、「3人」が19.0%の順となっています。

性別ごとにみると、男性、女性ともに「2人」が最も高くなっています。

年代別にみると、「20歳未満」で「わからない」が最も高く、「20歳代」と「30歳代」で「2人」が最も高くなっています。

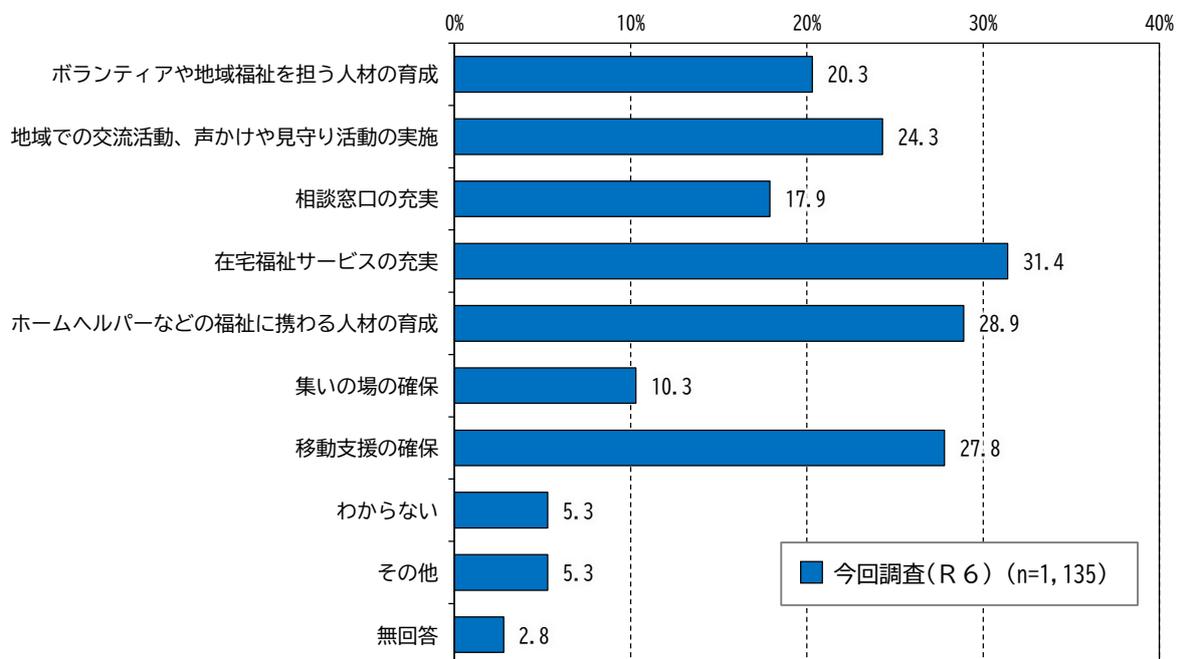


【問 14】 高齢者・障がい者が安心して暮らすためには、どのようなことが特に重要だと思いますか。(○は2つまで)

高齢者・障がい者が安心して暮らすために、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「在宅福祉サービスの充実」が31.4%と最も高く、次いで「ホームヘルパーなどの福祉に携わる人材の育成」が28.9%、「移動支援の確保」が27.8%の順となっています。

性別ごとにみると、男性、女性ともに「在宅福祉サービスの充実」が最も高くなっています。

年代別にみると、「20歳未満」と「40歳代」で「ホームヘルパーなどの福祉に携わる人材の育成」、「20歳代」で「在宅福祉サービスの充実」「移動支援の確保」、「30歳代」「50歳代」で「在宅福祉サービスの充実」、「60歳代」で「移動支援の確保」、「70歳以上」で「地域での交流活動、声かけや見守り活動の実施」がそれぞれ最も高くなっています。



第2章 調査結果「福祉」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	ボランティアや 担う人材の育成	地域での交流活動、 や見守り活動の実施、 声かけ	相談窓口の充実	在宅福祉サービスの 充実	ホームヘルパーなどの に携わる人材の育成	集いの場の確保	移動支援の確保	わからない	その他	無回答
全体		1,135 100.0	230 20.3	276 24.3	203 17.9	356 31.4	328 28.9	117 10.3	315 27.8	60 5.3	60 5.3	32 2.8
性別	男性	524 100.0	121 23.1	134 25.6	92 17.6	147 28.1	136 26.0	60 11.5	144 27.5	32 6.1	25 4.8	15 2.9
	女性	590 100.0	107 18.1	138 23.4	107 18.1	201 34.1	187 31.7	57 9.7	165 28.0	26 4.4	34 5.8	16 2.7
	回答したくない	17 100.0	1 5.9	4 23.5	3 17.6	8 47.1	3 17.6	- -	4 23.5	2 11.8	1 5.9	1 5.9
年代別	20歳未満	106 100.0	18 17.0	28 26.4	12 11.3	24 22.6	32 30.2	14 13.2	25 23.6	11 10.4	4 3.8	5 4.7
	20歳代	95 100.0	23 24.2	19 20.0	15 15.8	31 32.6	23 24.2	12 12.6	31 32.6	8 8.4	2 2.1	- -
	30歳代	125 100.0	30 24.0	26 20.8	19 15.2	42 33.6	39 31.2	18 14.4	28 22.4	8 6.4	5 4.0	3 2.4
	40歳代	165 100.0	35 21.2	27 16.4	25 15.2	63 38.2	67 40.6	18 10.9	49 29.7	3 1.8	7 4.2	3 1.8
	50歳代	165 100.0	27 16.4	40 24.2	33 20.0	68 41.2	51 30.9	10 6.1	46 27.9	3 1.8	15 9.1	3 1.8
	60歳代	248 100.0	51 20.6	65 26.2	55 22.2	64 25.8	63 25.4	28 11.3	75 30.2	13 5.2	17 6.9	5 2.0
	70歳以上	229 100.0	46 20.1	71 31.0	43 18.8	64 27.9	52 22.7	17 7.4	60 26.2	14 6.1	10 4.4	13 5.7

5) 産業振興

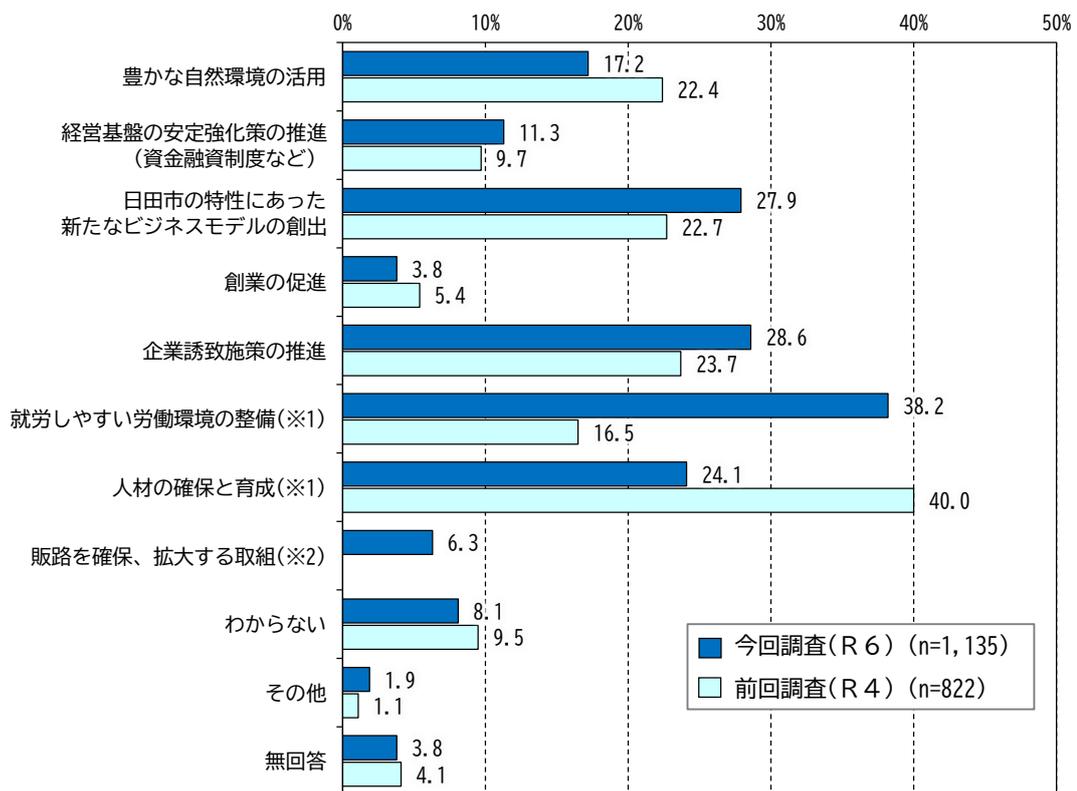
【問 15】日田市の産業振興のために、どのようなことが特に重要だと思いますか。
(○は2つまで)

日田市の産業振興のために、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「就労しやすい労働環境の整備」が38.2%と最も高く、次いで「企業誘致施策の推進」が28.6%、「日田市の特性にあった新たなビジネスモデルの創出」が27.9%の順となっています。

性別ごとにみると、「就労しやすい労働環境の整備」と回答した割合は、「女性」が43.4%で「男性」の32.3%と比較して11.1ポイント高くなっています。

年代別にみると、「70歳以上」を除く年代で、「就労しやすい労働環境の整備」と回答した割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「豊かな自然環境の活用」が約5ポイント減少しています。一方、「日田市の特性にあった新たなビジネスモデルの創出」が約5ポイント増加しています。



(※1) 「就労しやすい労働環境の整備」「人材の確保と育成」はそれぞれ、前回調査(R4)の「労働環境の整備(ワークライフバランスの推進など)」「後継者・担い手の育成や確保」と比較を行っている

(※2) 「販路を確保、拡大する取組」は今回調査(R6)で追加した選択肢

第2章 調査結果「産業振興」

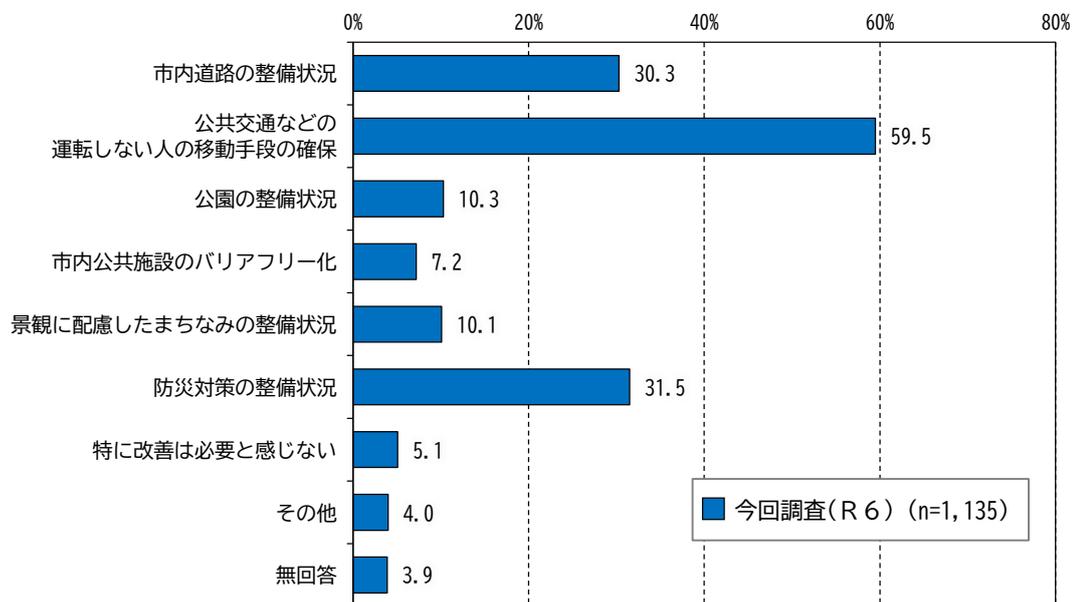
単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	豊かな自然環境の活用	経営基盤の安定強化策の推進（資金融資制度など）	日田市の特性にあつた新たなビジネスモデルの創出	創業の促進	企業誘致施策の推進	就業しやすい労働環境の整備	人材の確保と育成	販路を確保、拡大する取組	わからない	その他	無回答
全体		1,135 100.0	195 17.2	128 11.3	317 27.9	43 3.8	325 28.6	434 38.2	274 24.1	71 6.3	92 8.1	21 1.9	43 3.8
性別	男性	524 100.0	93 17.7	64 12.2	164 31.3	21 4.0	169 32.3	169 32.3	136 26.0	42 8.0	37 7.1	9 1.7	17 3.2
	女性	590 100.0	99 16.8	61 10.3	148 25.1	22 3.7	154 26.1	256 43.4	136 23.1	28 4.7	52 8.8	10 1.7	25 4.2
	回答したくない	17 100.0	3 17.6	3 17.6	5 29.4	- -	1 5.9	8 47.1	2 11.8	- -	2 11.8	1 5.9	1 5.9
年代別	20歳未満	106 100.0	26 24.5	10 9.4	22 20.8	2 1.9	16 15.1	37 34.9	27 25.5	6 5.7	18 17.0	- -	5 4.7
	20歳代	95 100.0	27 28.4	17 17.9	25 26.3	2 2.1	23 24.2	38 40.0	21 22.1	6 6.3	8 8.4	1 1.1	- -
	30歳代	125 100.0	17 13.6	12 9.6	26 20.8	4 3.2	30 24.0	69 55.2	37 29.6	7 5.6	10 8.0	- -	2 1.6
	40歳代	165 100.0	24 14.5	14 8.5	53 32.1	4 2.4	53 32.1	69 41.8	46 27.9	10 6.1	12 7.3	4 2.4	4 2.4
	50歳代	165 100.0	22 13.3	21 12.7	54 32.7	13 7.9	57 34.5	68 41.2	39 23.6	10 6.1	5 3.0	3 1.8	3 1.8
	60歳代	248 100.0	33 13.3	33 13.3	66 26.6	11 4.4	84 33.9	90 36.3	53 21.4	19 7.7	19 7.7	8 3.2	6 2.4
	70歳以上	229 100.0	46 20.1	21 9.2	71 31.0	7 3.1	61 26.6	63 27.5	51 22.3	13 5.7	19 8.3	5 2.2	23 10.0

6) 生活基盤

【問 16】あなたが日田市内における生活基盤について、改善が必要と感じているものはどれですか。(○は2つまで)

日田市内における生活基盤で、改善が必要と感じているものについては、「公共交通などの運転しない人の移動手段の確保」が59.5%と最も高く、次いで「防災対策の整備状況」が31.5%、「市内道路の整備状況」が30.3%の順となっています。

年代別にみると、全ての年代で「公共交通などの運転しない人の移動手段の確保」と回答した割合が最も高くなっています。



第2章 調査結果「生活基盤」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	市内道路の整備状況	公共交通などの移動手段の確保	公園の整備状況	市内公共施設のバリアフリー化	景観に配慮したまちなみの整備状況	防災対策の整備状況	特に改善は必要と感ぜない	その他	無回答
全体		1,135 100.0	344 30.3	675 59.5	117 10.3	82 7.2	115 10.1	357 31.5	58 5.1	45 4.0	44 3.9
性別	男性	524 100.0	182 34.7	286 54.6	51 9.7	29 5.5	72 13.7	174 33.2	28 5.3	17 3.2	23 4.4
	女性	590 100.0	156 26.4	381 64.6	66 11.2	50 8.5	41 6.9	175 29.7	30 5.1	26 4.4	19 3.2
	回答したくない	17 100.0	5 29.4	5 29.4	- -	3 17.6	2 11.8	6 35.3	- -	2 11.8	2 11.8
年代別	20歳未満	106 100.0	31 29.2	43 40.6	13 12.3	8 7.5	11 10.4	28 26.4	12 11.3	3 2.8	5 4.7
	20歳代	95 100.0	38 40.0	62 65.3	6 6.3	8 8.4	12 12.6	24 25.3	7 7.4	2 2.1	- -
	30歳代	125 100.0	37 29.6	62 49.6	28 22.4	7 5.6	9 7.2	43 34.4	8 6.4	8 6.4	2 1.6
	40歳代	165 100.0	57 34.5	85 51.5	26 15.8	15 9.1	21 12.7	50 30.3	6 3.6	10 6.1	3 1.8
	50歳代	165 100.0	47 28.5	105 63.6	12 7.3	8 4.8	9 5.5	55 33.3	5 3.0	10 6.1	6 3.6
	60歳代	248 100.0	84 33.9	170 68.5	19 7.7	11 4.4	21 8.5	94 37.9	7 2.8	7 2.8	9 3.6
	70歳以上	229 100.0	49 21.4	147 64.2	13 5.7	25 10.9	32 14.0	62 27.1	13 5.7	5 2.2	19 8.3

7) 教育・文化

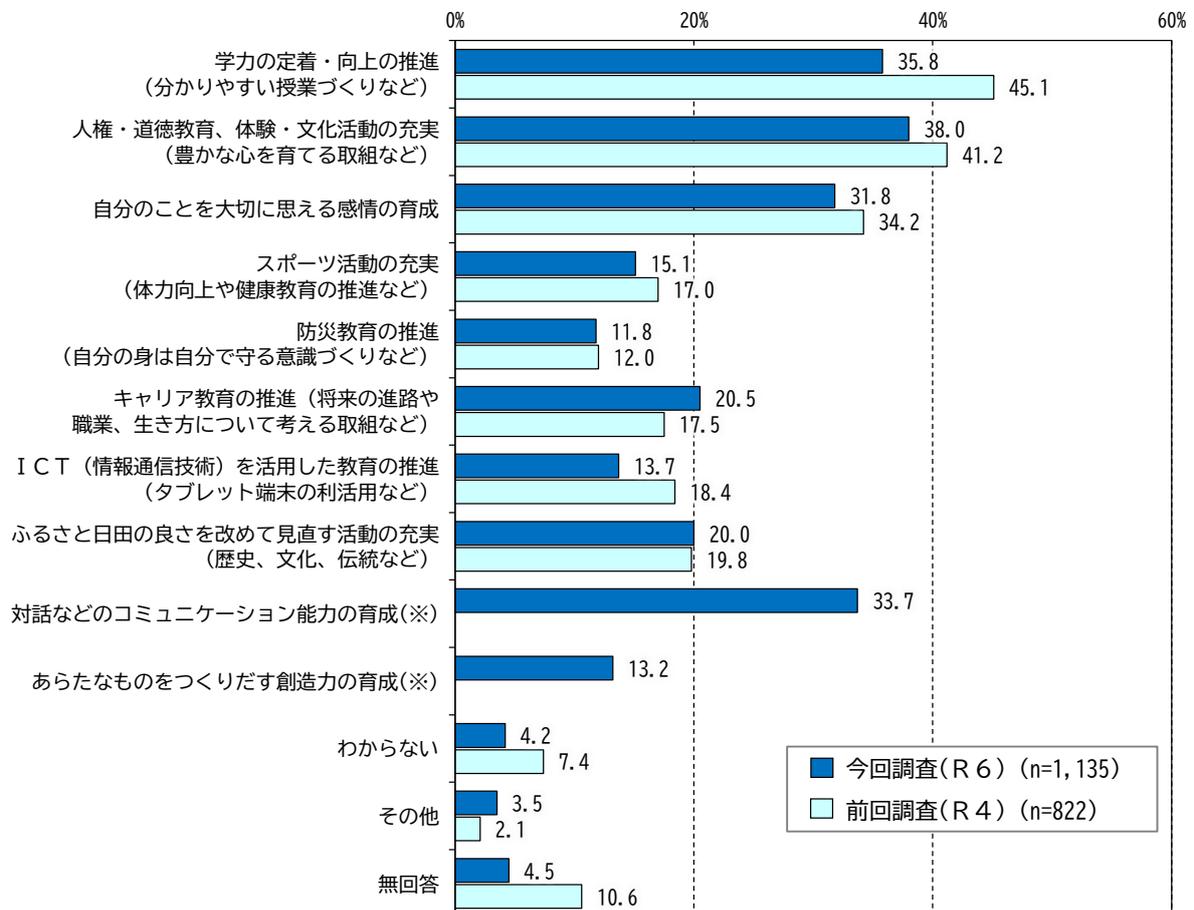
【問 17】小・中学校の教育において、どのようなことに力を注いでいく必要があると思いますか。(○は3つまで)

小・中学校の教育で、どのようなことに力を注いでいく必要があると思うかについては、「人権・道徳教育、体験・文化活動の充実（豊かな心を育てる取組など）」が38.0%と最も高く、次いで「学力の定着・向上の推進（分かりやすい授業づくりなど）」が35.8%、「対話などのコミュニケーション能力の育成」が33.7%の順となっています。

性別ごとにみると、「人権・道徳教育、体験・文化活動の充実（豊かな心を育てる取組など）」と回答した割合は、「女性」が40.8%で「男性」の34.7%と比較して6.1ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20歳未満」「20歳代」「40歳代（同率）」「50歳代」で「学力の定着・向上の推進（分かりやすい授業づくりなど）」、「30歳代」「40歳代（同率）」で「対話などのコミュニケーション能力の育成」が最も高くなっています。「40歳代（同率）」「60歳代」「70歳以上」で「人権・道徳教育、体験・文化活動の充実（豊かな心を育てる取組など）」が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「キャリア教育の推進（将来の進路や職業、生き方について考える取組など）」が3.0ポイント増加しています。



(※)「対話などのコミュニケーション能力の育成」「あらたなものをづくりだす創造力の育成」は今回調査 (R6) で追加した選択肢

第2章 調査結果「教育・文化」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	学力の定着・向上の推進（分かりやすい授業づくりなど）	人権・道徳教育・体験・文化活動の充実（豊かな心を育てる取組など）	自分のことを大切に思える感情の育成	スポーツ活動の充実（体力向上や健康教育の推進など）	防災教育の推進（自分の身は自分で守る意識づくりなど）	キャリア教育の推進（将来の進路や職業、生き方について考える取組など）	ICT（情報通信技術）を活用した教育の推進（タブレット端末の活用など）	ふるさと日田の良さを改めて見直す活動の充実（歴史、文化、伝統など）	対話などのコミュニケーション能力の育成	あらたなものをつくりだす創造力の育成	わからない	その他	無回答
全体		1,135 100.0	406 35.8	431 38.0	361 31.8	171 15.1	134 11.8	233 20.5	155 13.7	227 20.0	382 33.7	150 13.2	48 4.2	40 3.5	51 4.5
性別	男性	524 100.0	192 36.6	182 34.7	144 27.5	95 18.1	60 11.5	102 19.5	78 14.9	122 23.3	149 28.4	75 14.3	27 5.2	18 3.4	24 4.6
	女性	590 100.0	212 35.9	241 40.8	213 36.1	74 12.5	72 12.2	126 21.4	73 12.4	103 17.5	223 37.8	71 12.0	20 3.4	20 3.4	24 4.1
	回答したくない	17 100.0	1 5.9	6 35.3	4 23.5	1 5.9	2 11.8	4 23.5	4 23.5	2 11.8	9 52.9	3 17.6	1 5.9	2 11.8	2 11.8
年代別	20歳未満	106 100.0	47 44.3	22 20.8	30 28.3	26 24.5	8 7.5	19 17.9	23 21.7	14 13.2	30 28.3	16 15.1	6 5.7	6 5.7	4 3.8
	20歳代	95 100.0	38 40.0	31 32.6	37 38.9	20 21.1	11 11.6	23 24.2	19 20.0	19 20.0	25 26.3	6 6.3	2 2.1	3 3.2	1 1.1
	30歳代	125 100.0	41 32.8	52 41.6	51 40.8	21 16.8	15 12.0	31 24.8	17 13.6	24 19.2	53 42.4	10 8.0	1 0.8	5 4.0	2 1.6
	40歳代	165 100.0	62 37.6	62 37.6	58 35.2	31 18.8	20 12.1	52 31.5	29 17.6	31 18.8	62 37.6	17 10.3	3 1.8	5 3.0	6 3.6
	50歳代	165 100.0	69 41.8	46 27.9	53 32.1	20 12.1	19 11.5	39 23.6	22 13.3	28 17.0	61 37.0	29 17.6	5 3.0	10 6.1	4 2.4
	60歳代	248 100.0	80 32.3	110 44.4	72 29.0	28 11.3	33 13.3	45 18.1	29 11.7	61 24.6	92 37.1	40 16.1	12 4.8	8 3.2	7 2.8
	70歳以上	229 100.0	69 30.1	107 46.7	60 26.2	25 10.9	28 12.2	24 10.5	16 7.0	50 21.8	59 25.8	31 13.5	19 8.3	3 1.3	26 11.4

8) 環境

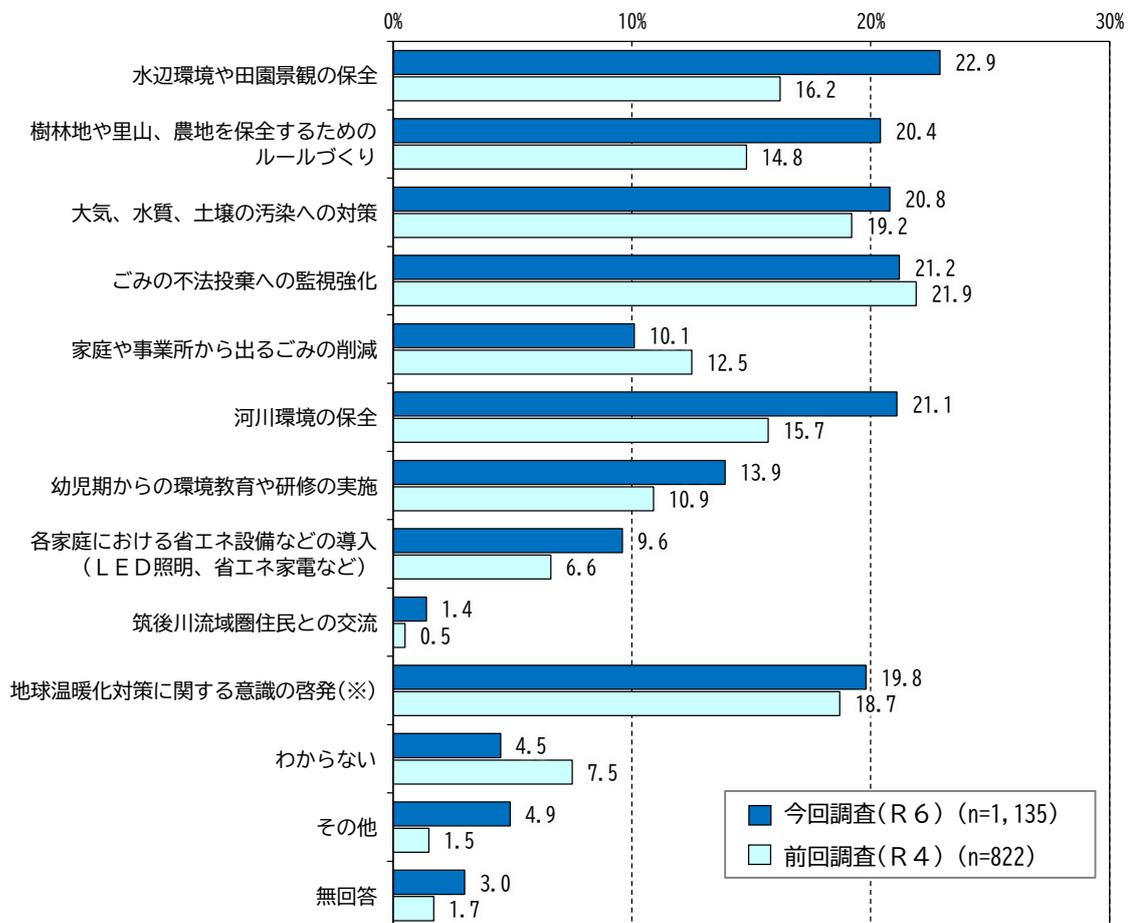
【問 18】 自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、どのようなことが特に重要だと思いますか。(〇は2つまで)

自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「水辺環境や田園景観の保全」が22.9%と最も高く、次いで「ごみの不法投棄への監視強化」が21.2%、「河川環境の保全」が21.1%の順となっています。

性別ごとにみると、「樹林地や里山、農地を保全するためのルールづくり」と回答した割合は、「男性」が24.6%で「女性」の16.8%と比較して7.8ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20歳未満」「20歳代」で「ごみの不法投棄への監視強化」が最も高くなっています。「30歳代」「50歳代」で「水辺環境や田園景観の保全」が最も高くなっています。また、「40歳代」でも「水辺環境や田園景観の保全」と「河川環境の保全」が同率で最も高くなっています。「60歳代」では「地球温暖化対策に関する意識の啓発」、「70歳代」では「樹林地や里山、農地を保全するためのルールづくり」が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「水辺環境や田園景観の保全」が6.7ポイント、「樹林地や里山、農地を保全するためのルールづくり」が5.6ポイント、「河川環境の保全」が5.4ポイント、それぞれ増加しています。



(※)「地球温暖化対策に関する意識の啓発」は、前回調査(R4)の「地球温暖化対策に関すること」と比較を行っている

第2章 調査結果「環境」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	水辺環境や田園景観の保全	樹林地や里山のルールづくり	大気、水質、土壌の汚染への対策	ごみの不法投棄への監視強化	家庭や事業所から出るごみの削減	河川環境の保全	幼児期からの環境教育や研修の実施	各家庭における省エネ設備などの導入（LED照明、省エネ家電など）	筑後川流域圏住民との交流	地球温暖化対策に関する意識の啓発	わからない	その他	無回答
全体		1,135 100.0	260 22.9	232 20.4	236 20.8	241 21.2	115 10.1	239 21.1	158 13.9	109 9.6	16 1.4	225 19.8	51 4.5	56 4.9	34 3.0
性別	男性	524 100.0	131 25.0	129 24.6	107 20.4	111 21.2	37 7.1	123 23.5	68 13.0	48 9.2	9 1.7	89 17.0	21 4.0	25 4.8	20 3.8
	女性	590 100.0	125 21.2	99 16.8	126 21.4	125 21.2	77 13.1	114 19.3	89 15.1	57 9.7	6 1.0	134 22.7	27 4.6	28 4.7	14 2.4
	回答したくない	17 100.0	3 17.6	2 11.8	3 17.6	4 23.5	1 5.9	2 11.8	1 5.9	3 17.6	1 5.9	2 11.8	3 17.6	2 11.8	-
年代別	20歳未満	106 100.0	18 17.0	9 8.5	22 20.8	29 27.4	12 11.3	13 12.3	22 20.8	13 12.3	1 0.9	18 17.0	12 11.3	4 3.8	4 3.8
	20歳代	95 100.0	28 29.5	13 13.7	28 29.5	31 32.6	6 6.3	20 21.1	13 13.7	14 14.7	-	7 7.4	7 7.4	2 2.1	2 2.1
	30歳代	125 100.0	35 28.0	16 12.8	27 21.6	30 24.0	6 4.8	27 21.6	22 17.6	17 13.6	1 0.8	12 9.6	11 8.8	8 6.4	1 0.8
	40歳代	165 100.0	39 23.6	31 18.8	37 22.4	29 17.6	20 12.1	39 23.6	26 15.8	13 7.9	-	31 18.8	7 4.2	13 7.9	3 1.8
	50歳代	165 100.0	42 25.5	36 21.8	32 19.4	27 16.4	21 12.7	39 23.6	15 9.1	18 10.9	4 2.4	32 19.4	2 1.2	10 6.1	7 4.2
	60歳代	248 100.0	53 21.4	65 26.2	47 19.0	45 18.1	29 11.7	62 25.0	39 15.7	14 5.6	4 1.6	67 27.0	6 2.4	8 3.2	7 2.8
	70歳以上	229 100.0	44 19.2	61 26.6	43 18.8	49 21.4	21 9.2	39 17.0	21 9.2	19 8.3	6 2.6	58 25.3	6 2.6	11 4.8	10 4.4

令和6年度 日田市市民意識調査

令和7年3月 発行

企画・発行：日田市 総務企画部 企画課

〒 877-8601 大分県日田市田島2丁目6番1号

TEL 0973-22-8223

FAX 0973-22-8324

<https://www.city.hita.oita.jp/>

E-mail kikaku@city.hita.lg.jp

調査委託：株式会社 サーベイリサーチ・センター
